

学校コード F144310111450

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

立命館アジア太平洋大学大学 サステイナビリティ観光学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人立命館

令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 アカデミック・オフィス

職名・氏名 カチユウ オカハラ ヤスヒロ
課長 中原 康博

電話番号 0977-78-1122

(夜間) 0977-78-1122

e-mail apust@apu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

サステイナビリティ観光学部

＜サステイナビリティ観光学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	46
7. その他全般的事項	47

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人立命館

(2) 大学名

立命館アジア太平洋大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒874-8577
大分県別府市十文字原1-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(モリシマ トモミ) 森島 朋三 (平成29年7月)		
学長	(デグチ ハルアキ) 出口 治明 (平成30年1月)		
学部長	(リ エン) 李 燕 (令和5年4月)		
副学部長	(クボ タカユキ) 久保 隆行 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
サステイナビリティ観光学部 サステイナビリティ観光学科 学主(サステイナビリティ観光学)	社会学・社会福祉学関係	4年	350人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	1,400人	-	基礎となる学部：アジア太平洋学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	0.74倍	0.74倍	0.74倍	0.74倍	令和5年度の秋季入学に関する情報は本表作成時点で未確定のため、含んでいない
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []					
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []					
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []					
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []					
入学定員超過率 B/A	-		-		-		-		-		0.74						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 ・ また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	261 [51] (—)	— [—] (—)	令和5年度の秋季入学に関わる情報は本表作成時点で未確定のため、記載していない
2年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	261 [51] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和5年度	261人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{261} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<サステイナビリティ観光学部 サステイナビリティ観光学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	英語初級A	1・2前・後	4								2	
	英語初級B	1・2前・後	2								2	
	英語準中級A	1・2前・後	4								2	
	英語準中級B	1・2前・後	2								2	
	英語中級A	1・2前・後	4								2	
	英語中級B	1・2前・後	2								2	
	英語準上級A	1・2前・後	4								2	
	英語準上級B	1・2前・後	2								2	
	英語上級1A	1・2前・後	4								1	
	英語上級1B	1・2前・後	2								1	
	英語上級2A	1・2前・後	4								1	
	英語上級2B	1・2前・後	2								1	
	英語ディスカッションとディベート	2・3前・後	2								1	
	英語検定試験対策講座Ⅰ	2・3・4前・後	2								1	
	英語検定試験対策講座Ⅱ	2・3・4前・後	2								1	
	英語検定試験対策講座Ⅲ	2・3・4前・後	2								1	
	メディアのなかの英語	2・3前・後	2								1	
	ジャーナリズムのための英語	2・3前・後	2								1	
	TESOL	2・3・4前・後	2								1	
	ビジネス英語A	2・3前・後	2								1	
	ビジネス英語B	2・3前・後	2								1	
	ホスピタリティ・観光の英語	2・3前・後	2								1	
	英語コミュニケーション・スキル	2・3前・後	2								1	
	英語小説講読	2・3前・後	2								1	
	日本語初級Ⅰ	1・2前・後	4								3	
	日本語初級Ⅱ	1・2前・後	4								4	
	日本語初級Ⅲ	1・2前・後	4								4	
	日本語中級	1・2前・後	4								4	
	日本語中上級	2・3前・後	4								3	
	日本語上級	2・3前・後	4								2	
	キャリア日本語	3・4前・後	4								1	
	日本語・日本文化	2・3前・後	2								1	
	日本語・日本社会	2・3前・後	2								1	
	漢字・語彙スキルアップ	2・3前・後	2								1	
	自己表現のための日本語	2・3前・後	2								1	
	日本語コミュニケーションスキル	2・3前・後	2								1	
	日本語教育のための日本語学	2・3前・後	2								1	
	日本語教授法	2・3・4前・後	2								1	
	中国語Ⅰ	1・2・3前・後	4								1	
	中国語Ⅱ	1・2・3前・後	4								1	
	中国語ⅢA	1・2・3前・後	2								1	
	中国語ⅢB	1・2・3前・後	2								1	
	言語グローバルラーニング(中国語)A	1・2・3前・後	2								1	
	言語グローバルラーニング(中国語)B	1・2・3前・後	2								1	
	韓国語Ⅰ	1・2・3前・後	4								1	
	韓国語Ⅱ	1・2・3前・後	4								1	
	韓国語Ⅲ	1・2・3前・後	2								1	
	韓国語Ⅳ	1・2・3前・後	2								1	
	言語グローバルラーニング(韓国語)A	1・2・3前・後	2								1	
	言語グローバルラーニング(韓国語)B	1・2・3前・後	2								1	
	マレー・インドネシア語Ⅰ	1・2・3前・後	4								1	
	マレー・インドネシア語Ⅱ	1・2・3前・後	4								1	
	マレー・インドネシア語ⅢA	1・2・3前・後	2								1	
	マレー・インドネシア語ⅢB	1・2・3前・後	2								1	
	言語グローバルラーニング(マレー・インドネシア語)	1・2・3前・後	2								1	
	スペイン語Ⅰ	1・2・3前・後	4								1	
	スペイン語Ⅱ	1・2・3前・後	4								1	
	スペイン語ⅢA	1・2・3前・後	2								1	
	スペイン語ⅢB	1・2・3前・後	2								1	
	言語グローバルラーニング(スペイン語)	1・2・3前・後	2								1	
	タイ語Ⅰ	1・2・3前・後	4								1	
	タイ語Ⅱ	1・2・3前・後	4								1	
	タイ語Ⅲ	1・2・3前・後	2								1	
	言語グローバルラーニング(タイ語)A	1・2・3前・後	2								1	
	言語グローバルラーニング(タイ語)B	1・2・3前・後	2								1	
	ベトナム語Ⅰ	1・2・3前・後	4								1	
	ベトナム語Ⅱ	1・2・3前・後	4								1	
	ベトナム語Ⅲ	1・2・3前・後	2								1	
	言語グローバルラーニング(ベトナム語)A	1・2・3前・後	2								1	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	英語初級A	1・2前・後	4									7
	英語初級B	1・2前・後	2									9
	英語準中級A	1・2前・後	4									8
	英語準中級B	1・2前・後	2									11
	英語中級A	1・2前・後	4									10
	英語中級B	1・2前・後	2									15
	英語準上級A	1・2前・後	4									9
	英語準上級B	1・2前・後	2									14
	英語上級1A	1・2前・後	4									2
	英語上級1B	1・2前・後	2									2
	英語上級2A	1・2前・後	4									2
	英語上級2B	1・2前・後	2									2
	英語ディスカッションとディベート	2・3前・後	2									1
	英語検定試験対策講座Ⅰ	2・3・4前・後	2									1
	英語検定試験対策講座Ⅱ	2・3・4前・後	2									1
	英語検定試験対策講座Ⅲ	2・3・4前・後	2									1
	メディアのなかの英語	2・3前・後	2									1
	ジャーナリズムのための英語	2・3前・後	2									1
	TESOL	2・3・4前・後	2									1
	ビジネス英語A	2・3前・後	2									1
	ビジネス英語B	2・3前・後	2									1
	ホスピタリティ・観光の英語	2・3前・後	2									1
	英語コミュニケーション・スキル	2・3前・後	2									1
	英語小説講読	2・3前・後	2									1
	日本語初級Ⅰ	1・2前・後	4									8
	日本語初級Ⅱ	1・2前・後	4									12
	日本語初級Ⅲ	1・2前・後	4									1
	日本語中級	1・2前・後	4									18
	日本語中上級	2・3前・後	4									3
	日本語上級	2・3前・後	4									2
	キャリア日本語	3・4前・後	4									1
	日本語・日本文化	2・3前・後	2									1
	日本語・日本社会	2・3前・後	2									1
	漢字・語彙スキルアップ	2・3前・後	2									1
	自己表現のための日本語	2・3前・後	2									1
	日本語コミュニケーションスキル	2・3前・後	2									1
	日本語教育のための日本語学	2・3前・後	2									1
	日本語教授法	2・3・4前・後	2									1
	中国語Ⅰ	1・2・3前・後	4									7
	中国語Ⅱ	1・2・3前・後	4									5
	中国語ⅢA	1・2・3前・後	2									3
	中国語ⅢB	1・2・3前・後	2									1
	言語グローバルラーニング(中国語)A	1・2・3前・後	2									1
	言語グローバルラーニング(中国語)B	1・2・3前・後	2									1
	韓国語Ⅰ	1・2・3前・後	4									4
	韓国語Ⅱ	1・2・3前・後	4									3
	韓国語Ⅲ	1・2・3前・後	2									1
	韓国語Ⅳ	1・2・3前・後	2									1
	言語グローバルラーニング(韓国語)A	1・2・3前・後	2									1
	言語グローバルラーニング(韓国語)B	1・2・3前・後	2									1
	マレー・インドネシア語Ⅰ	1・2・3前・後	4									5
	マレー・インドネシア語Ⅱ	1・2・3前・後	4									3
	マレー・インドネシア語ⅢA	1・2・3前・後	2									2
	マレー・インドネシア語ⅢB	1・2・3前・後	2									2
	言語グローバルラーニング(マレー・インドネシア語)	1・2・3前・後	2									1
	スペイン語Ⅰ	1・2・3前・後	4									4
	スペイン語Ⅱ	1・2・3前・後	4									4
	スペイン語ⅢA	1・2・3前・後	2									1
	スペイン語ⅢB	1・2・3前・後	2									1
	言語グローバルラーニング(スペイン語)	1・2・3前・後	2									1
	タイ語Ⅰ	1・2・3前・後	4									2
	タイ語Ⅱ	1・2・3前・後	4									1
	タイ語Ⅲ	1・2・3前・後	2									1
	言語グローバルラーニング(タイ語)A	1・2・3前・後	2									1
	言語グローバルラーニング(タイ語)B	1・2・3前・後	2									1
	ベトナム語Ⅰ	1・2・3前・後	4									2
	ベトナム語Ⅱ	1・2・3前・後	4									2
	ベトナム語Ⅲ	1・2・3前・後	2									1
	言語グローバルラーニング(ベトナム語)A	1・2・3前・後	2									1

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
言語教育科目	言語グローバルラーニング(ベトナム語)B	1・2・3前・後	2								1
	アジア太平洋言語入門	1・2前・後	2								1
	集中言語研修	1・2・3・4前・後	2								1
	特殊講義(言語教育科目)	1・2・3・4前・後	2								1
	言語教育科目分野	1・2・3・4前・後	8			1					
小計(74科目)	—	0	204	0	1	0	0	0	0	28	
共通教育科目	観光学入門	1前・後	2			1		1			
	持続可能な開発入門	1前・後	2			1					
	社会学入門	1前・後	2			1		1			
	社会科学のための統計学	1前・後	2			2					
	スチューデントサクセスワークショップ	1前・後	2								10
	多文化協働ワークショップ	1前・後	2			1					7
	平和・ヒューマニティ・民主主義	1・2前・後	2								1
	異文化間コミュニケーション入門	1・2前・後	2								1
	異文化フィールドワークⅠ	1前・後	2						1		1
	異文化フィールドワークⅡ	1・2前・後	2								1
	多文化比較論	1・2前・後	2						2		2
	グローバルリーダーシップの基礎	1・2前・後	2								1
	海外学習デザイン	1・2前・後	2								1
	ブリッジプログラム	1・2前・後	2								1
	異文化間コミュニケーションの応用と実践	2・3前・後	2								1
	グローバルリーダーシップのためのスキルと実践	2・3前・後	2								1
	ソーシャルイノベーションのためのグローバルリーダーシップ	2・3前・後	2								1
	アジア太平洋の言語	1・2前・後	2								1
	アジア太平洋の宗教	1・2前・後	2								1
	アジア太平洋の地理	1・2前・後	2								1
	アジア太平洋の文化と社会	1・2前・後	2								1
	アジア太平洋の歴史	1・2前・後	2								1
	日本の政治と社会	1・2前・後	2						2		2
	日本のポピュラーカルチャー	1・2前・後	2								1
	日本の歴史	1・2前・後	2								1
	日本国憲法	1・2前・後	2								1
	特殊講義(日本学)	1・2前・後	2								1
	茶道	2・3前・後	2								1
	華道	2・3前・後	2								1
	日本の伝統芸能	2・3前・後	2								1
	政策学入門	1・2前・後	2							1	1
	メディア学入門	1・2前・後	2								1
	国際関係論入門	1・2前・後	2							3	3
	比較政治学入門	1・2前・後	2								1
	政治学入門	1・2前・後	2						2		2
	世界経済とグローバル課題	1・2前・後	2								2
	経済学入門	1・2前・後	2								3
	基礎数学	1・2前・後	2								1
	上級数学	2・3前・後	2								1
	法学	1・2前・後	2								1
	心理学	1・2前・後	2			1					1
	生命倫理	1・2前・後	2								1
	ウェルネス	2・3前・後	2			1					1
	AIと社会	1・2前・後	2								1
	西洋哲学	1・2前・後	2								1
	中国哲学	1・2前・後	2								1
	西洋美術	1・2前・後	2								1
	近現代の科学技術	1・2前・後	2								1
	ネゴシエーションスキル	1・2前・後	2								1
	論理とクリティカルシンキング	1・2前・後	2								2
キャリア形成のための自己分析	1・2前・後	2								1	
キャリア形成のための多様な視点	1・2前・後	2								1	
キャリア形成のためのキャリア分野分析	2・3前・後	2								1	
特殊講義(共通教養科目)	1・2・3・4前・後	2						2		2	
ウェブデザイン	1・2前・後	2								1	
情報処理入門	1・2前・後	2				1				1	
プログラミング入門	1・2前・後	2				1				3	
情報リテラシー	1・2前・後	2				1				1	
メディア制作ラボ	2・3前・後	2								1	
AIとデータサイエンス	2・3前・後	2				1				1	
GIS入門	2・3前・後	2				1				1	
データベースシステム	2・3前・後	2								1	
特殊講義(ICT)	2・3・4前・後	2			1	1				1	
情報システムプログラミング	2・3前・後	2								1	
インターンシップ	2・3・4前・後	2								1	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
言語教育科目	言語グローバルラーニング(ベトナム語)B	1・2・3前・後	2								1
	アジア太平洋言語入門	1・2前・後	2								1
	集中言語研修	1・2・3・4前・後	2								9
	特殊講義(言語教育科目)	1・2・3・4前・後	2								6
	言語教育科目分野	1・2・3・4前・後	1-8			1					
	言語教育科目分野(英語)	1・2・3・4前・後	1-8			1					
	言語教育科目分野(日本語)	1・2・3・4前・後	1-8			1					
言語教育科目分野(アジア太平洋言語)	1・2・3・4前・後	1-8			1						
言語教育科目分野(遠隔)	1・2・3・4前・後	1-8			1						
小計(78科目)	—	0	236	0	1	0	0	0	0	105	
共通教育科目	観光学入門	1前・後	2			1	2		1		
	持続可能な開発入門	1前・後	2			1			1		
	社会学入門	1前・後	2			1			1		
	社会科学のための統計学	1前・後	2			2					
	スチューデントサクセスワークショップ	1前・後	2								16
	多文化協働ワークショップ	1前・後	2			1			1		13
	平和・ヒューマニティ・民主主義	1・2前・後	2								2
	異文化間コミュニケーション入門	1・2前・後	2								2
	異文化フィールドワークⅠ	1前・後	2					1			3
	異文化フィールドワークⅡ	1・2前・後	2								2
	多文化比較論	1・2前・後	2					1			4
	グローバルリーダーシップの基礎	1・2前・後	2								5
	海外学習デザイン	1・2前・後	2								1
	ブリッジプログラム	1・2前・後	2					1			0
	異文化間コミュニケーションの応用と実践	2・3前・後	2								1
	グローバルリーダーシップのためのスキルと実践	2・3前・後	2								1
	ソーシャルイノベーションのためのグローバルリーダーシップ	2・3前・後	2								1
	アジア太平洋の言語	1・2前・後	2								2
	アジア太平洋の宗教	1・2前・後	2								3
	アジア太平洋の地理	1・2前・後	2								2
	アジア太平洋の文化と社会	1・2前・後	2								4
	アジア太平洋の歴史	1・2前・後	2								2
	日本の政治と社会	1・2前・後	2								3
	日本のポピュラーカルチャー	1・2前・後	2								2
	日本の歴史	1・2前・後	2								2
	日本国憲法	1・2前・後	2								2
	特殊講義(日本学)	1・2前・後	2								2
	茶道	2・3前・後	2								1
	華道	2・3前・後	2								1
	日本の伝統芸能	2・3前・後	2								1
	政策学入門	1・2前・後	2						1		1
	メディア学入門	1・2前・後	2								2
	国際関係論入門	1・2前・後	2								5
	比較政治学入門	1・2前・後	2								4
	政治学入門	1・2前・後	2						2		2
	世界経済とグローバル課題	1・2前・後	2								2
	経済学入門	1・2前・後	2								7
	基礎数学	1・2前・後	2								4
	上級数学	2・3前・後	2								1
	法学	1・2前・後	2								3
	心理学	1・2前・後	2			1					1
	生命倫理	1・2前・後	2								2
	ウェルネス	2・3前・後	2			1					1
	AIと社会	1・2前・後	2								1
	西洋哲学	1・2前・後	2								3
	中国哲学	1・2前・後	2								2
	西洋美術	1・2前・後	2								1
	近現代の科学技術	1・2前・後	2								2
	ネゴシエーションスキル	1・2前・後	2								2
	論理とクリティカルシンキング	1・2前・後	2								2
キャリア形成のための自己分析	1・2前・後	2								2	
キャリア形成のための多様な視点	1・2前・後	2								2	
キャリア形成のためのキャリア分野分析	2・3前・後	2								1	
特殊講義(共通教養科目)	1・2・3・4前・後	2						2		2	
ウェブデザイン	1・2前・後	2								1	
情報処理入門	1・2前・後	2						2		3	
プログラミング入門	1・2前・後	2						1		5	
情報リテラシー	1・2前・後	2					1	1		1	
メディア制作ラボ	2・3前・後	2								1	
AIとデータサイエンス	2・3前・後	2				1				1	
GIS入門	2・3前・後	2				1				1	
データベースシステム	2・3前・後	2								1	
特殊講義(ICT)	2・3・4前・後	2			1	1				1	
情報システムプログラミング	2・3前・後	2								1	
インターンシップ	2・3・4前・後	2								1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	共通教養科目分野	1-2-3-4前・後	8			1						
	小計(66科目)	—	8	130	0	6	4	0	2	0	43	
観光学分野科目	観光社会学	2-3前・後	2						1			
	観光文化論	2-3前・後	2			1						
	遺産観光論	3-4前・後	2			1			1			
	観光経済学	3-4前・後	2			1						
	文化人類学	2-3前・後	2								2	
	観光とメディア	2-3前・後	2						1		1	
	ツーリズム・オペレーション	2-3前・後	2						1		1	
	観光地マーケティング	3-4前・後	2			1			1			
	MICE産業論	2-3前・後	2			2						
	スペシャルインタレスト・ツーリズム	2-3前・後	2			2			1		1	
	ヘルス&ウェルネスツーリズム	2-3前・後	2			1					1	
	ホスピタリティ・オペレーション	2-3前・後	2			1			1		1	
	サービス・エクスペリエンス	3-4前・後	2			1			1		1	
	リゾート・マーケティング	3-4前・後	2			1			1		1	
	フード&ビバレッジ・オペレーション	2-3前・後	2			2			1		1	
	レベニュー・マネジメント	3-4前・後	2			1					1	
	専門教育科目分野(観光学)	1-2-3-4前・後	8			1						
小計(17科目)	—	0	40	0	5	1	0	3	0	3		
持続可能な社会分野科目	環境と社会	2-3前・後	2			1						
	環境政策とガバナンス	2-3前・後	2			1						
	環境経済学	2-3前・後	2			1						
	環境教育	2-3前・後	2								1	
	気候変動	2-3前・後	2			1	1					
	生物多様性	1-2前・後	2			1					1	
	公園と保護地域	3-4前・後	2			1						
	環境汚染と防止	1-2前・後	2			1						
	資源マネジメント	2-3前・後	2			1						
	循環型社会論	3-4前・後	2			1						
	エネルギーマネジメント	2-3前・後	2			1						
	サステナブルビジネス	3-4前・後	2			1						
	開発社会学・人類学	2-3前・後	2			1						
	開発政治論	2-3前・後	2								1	
	紛争と開発	2-3前・後	2								1	
	国際開発協力	2-3前・後	2			1						
	開発政策	3-4前・後	2			1						
	開発と経済	3-4前・後	2			2						
	専門教育科目分野(持続可能な社会)	1-2-3-4前・後	8			1						
小計(19科目)	—	0	44	0	6	2	0	0	0	3		
学部共通科目	サステナブルツーリズム	2-3前・後	2			1						
	観光地開発と計画	2-3前・後	2			1			1			
	農村開発と観光	2-3前・後	2			1						
	サステナブル都市開発と計画	1-2前・後	2			1						
	都市デザイン	2-3前・後	2			1						
	レジリエント都市論	1-2前・後	2			1						
	コミュニティ開発論	3-4前・後	2			1						
	GISとリモートセンシング	1-2前・後	2			1						
	インターネット技術とアプリケーション	1-2前・後	2			1	1					
	ビッグデータ分析	2-3前・後	2			1						
	システムモデリング	2-3前・後	2			1						
	応用統計分析	2-3前・後	2			1						
	ニューテクノロジーと未来社会	2-3前・後	2			1	1					
	会計入門	1-2前・後	2			1						1
	組織行動論	2-3前・後	2			1						2
	経営学入門	1-2前・後	2			1						1
	マーケティング入門	1-2前・後	2			1						2
	経営戦略	2-3前・後	2			1			1			
	ソーシャルアントレプレナーシップ	3-4前・後	2			1			1			
	プロジェクトマネジメント	2-3前・後	2			1						
	NPO/NGO論	3-4前・後	2			2						
	特殊講義(専門教育科目)	1-2-3-4前・後	2									1
	専門教育科目分野(学部共通)	1-2-3-4前・後	8			1						
小計(23科目)	—	0	52	0	6	4	0	3	0	6		
アカデミック科目	社会調査法入門	1前・後	2			2						
	質的分析技法	1-2前・後	2			1						
	文献講読 I	2前	2			5			2			
	文献講読 II	2後	2			5			2			
小計(4科目)	—	6	2	0	9	0	0	2	0	0		
オフキャンパス科目	専門実習	1-2-3-4前・後	2			5	1				1	3
	フィールド・スタディ	1-2-3-4前・後	2			4	1				1	1
	専門インターンシップ	2-3-4前・後	2			2					1	1
小計(3科目)	—	0	6	0	7	1	0	0	0	1		

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	共通教養科目分野	1-2-3-4前・後	8			1						
	共通教養科目分野(遠隔)	1-2-3-4前・後	1-8			1						
	小計(67科目)	—	8	138	0	8	6	0	4	0	97	
観光学分野科目	観光社会学	2-3前・後	2						1			
	観光文化論	2-3前・後	2			1						
	遺産観光論	3-4前・後	2			1			1			
	観光経済学	3-4前・後	2			1						
	文化人類学	2-3前・後	2								2	
	観光とメディア	2-3前・後	2						1		1	
	ツーリズム・オペレーション	2-3前・後	2						1		1	
	観光地マーケティング	3-4前・後	2			2			0			
	MICE産業論	2-3前・後	2			2						
	スペシャルインタレスト・ツーリズム	2-3前・後	2			2			1		1	
	ヘルス&ウェルネスツーリズム	2-3前・後	2			1					1	
	ホスピタリティ・オペレーション	2-3前・後	2			1			2		0	
	サービス・エクスペリエンス	3-4前・後	2			1			1		1	
	リゾート・マーケティング	3-4前・後	2			1			2		0	
	フード&ビバレッジ・オペレーション	2-3前・後	2			2			1		0	
	レベニュー・マネジメント	3-4前・後	2			1					1	
	専門教育科目分野(観光学)	1-2-3-4前・後	1-8			1						
小計(17科目)	—	0	40	0	5	2	0	2	0	3		
持続可能な社会分野科目	環境と社会	2-3前・後	2			1						
	環境政策とガバナンス	2-3前・後	2			1						
	環境経済学	2-3前・後	2			1						
	環境教育	2-3前・後	2								1	
	気候変動	2-3前・後	2			1	1					
	生物多様性	1-2前・後	2			1					1	
	公園と保護地域	3-4前・後	2			1						
	環境汚染と防止	1-2前・後	2			1			0		1	
	資源マネジメント	2-3前・後	2			1			1			
	循環型社会論	3-4前・後	2			1						
	エネルギーマネジメント	2-3前・後	2			1			1			
	サステナブルビジネス	3-4前・後	2			1						
	開発社会学・人類学	2-3前・後	2			1						
	開発政治論	2-3前・後	2								1	
	紛争と開発	2-3前・後	2								1	
	国際開発協力	2-3前・後	2			1						
	開発政策	3-4前・後	2			1						
	開発と経済	3-4前・後	2			2						
	専門教育科目分野(持続可能な社会)	1-2-3-4前・後	1-8			1						
小計(19科目)	—	0	44	0	6	2	0	1	0	3		
学部共通科目	サステナブルツーリズム	2-3前・後	2			1						
	観光地開発と計画	2-3前・後	2			1			1			
	農村開発と観光	2-3前・後	2			1						
	サステナブル都市開発と計画	1-2前・後	2			1						
	都市デザイン	2-3前・後	2			1						
	レジリエント都市論	1-2前・後	2			1						
	コミュニティ開発論	3-4前・後	2			1						
	GISとリモートセンシング	1-2前・後	2			1						
	インターネット技術とアプリケーション	1-2前・後	2			1	1				0	
	ビッグデータ分析	2-3前・後	2			1					1	
	システムモデリング	2-3前・後	2			1						
	応用統計分析	2-3前・後	2			1					1	
	ニューテクノロジーと未来社会	2-3前・後	2			1	1					
	会計入門	1-2前・後	2			1						1
	組織行動論	2-3前・後	2			1						2
	経営学入門	1-2前・後	2			1						1
	マーケティング入門	1-2前・後	2			1						2
	経営戦略	2-3前・後	2			1			2		0	
	ソーシャルアントレプレナーシップ	3-4前・後	2			1			1			
	プロジェクトマネジメント	2-3前・後	2			1						
	NPO/NGO論	3-4前・後	2			2						
	特殊講義(専門教育科目)	1-2-3-4前・後	2									1
	専門教育科目分野(学部共通)	1-2-3-4前・後	1-8			1						
小計(24科目)	—	0	60	0	6	5	0	2				

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
・最終成果科目 演習	専門演習	3前・後	2			12	5		3			
	卒業研究	4前	2			12	5		3			
	卒業プロジェクト	4後	4			12	5		3			
	キャプストーン	4前・後	2			3	5	0	3	0	0	
	小計(4科目)	—	0	10	0	13	5	0	3	0	0	
合計(210科目)			—	14	488	0	14	6	0	3	0	74
卒業要件及び履修方法												
<p>卒業必要単位数124単位を以下の(1)(2)の要件を満たして履修する。</p> <p>(1)共通教育科目において、以下の①②を満たす40単位以上を修得する。 ①共通教養科目において、以下の4科目8単位を含む合計16単位以上を修得する。 持続可能な開発入門、観光学入門、社会学入門、社会科学のための統計学 ②言語教育科目において、日本語基準学生は英語24単位以上、英語基準学生は日本語16単位以上を修得する。</p> <p>(2)専門教育科目において、以下の①から⑤の要件を満たした上で、合計62単位以上を修得する。 ①アカデミック・スキル科目のうち、以下の3科目6単位を修得する。 社会調査法入門、文献講読Ⅰ、文献講読Ⅱ ②演習・最終成果科目のうち、以下の科目から1科目2単位以上を修得する。 卒業プロジェクト、キャプストーン ③オフキャンパス・プログラム科目のうち、1科目2単位以上を修得する。 ④観光学分野科目のうち、5科目10単位以上を修得する。 ⑤持続可能な社会分野科目のうち、5科目10単位以上を修得する。</p> <p>履修科目の登録の上限：1年次36単位(前期18単位・後期18単位)、2年次40単位(前期20単位・後期20単位)、3年次40単位(前期20単位・後期20単位)、4年次48単位(前期24単位・後期24単位)</p>												

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
・最終成果科目 演習	専門演習	3前・後	2			12	6		2			
	卒業研究	4前	2			12	6		2			
	卒業プロジェクト	4後	4			12	6		2			
	キャプストーン	4前・後	2			3						
	小計(4科目)	—	0	10	0	13	6	0	2	0	0	
合計(216科目)			—	14	536	0	16	8	0	5	0	215
卒業要件及び履修方法												
<p>卒業必要単位数124単位を以下の(1)(2)の要件を満たして履修する。</p> <p>(1)共通教育科目において、以下の①②を満たす40単位以上を修得する。 ①共通教養科目において、以下の4科目8単位を含む合計16単位以上を修得する。 持続可能な開発入門、観光学入門、社会学入門、社会科学のための統計学 ②言語教育科目において、日本語基準学生は英語24単位以上、英語基準学生は日本語16単位以上を修得する。</p> <p>(2)専門教育科目において、以下の①から⑤の要件を満たした上で、合計62単位以上を修得する。 ①アカデミック・スキル科目のうち、以下の3科目6単位を修得する。 社会調査法入門、文献講読Ⅰ、文献講読Ⅱ ②演習・最終成果科目のうち、以下の科目から1科目2単位以上を修得する。 卒業プロジェクト、キャプストーン ③オフキャンパス・プログラム科目のうち、1科目2単位以上を修得する。 ④観光学分野科目のうち、5科目10単位以上を修得する。 ⑤持続可能な社会分野科目のうち、5科目10単位以上を修得する。</p> <p>履修科目の登録の上限：1年次36単位(前期18単位・後期18単位)、2年次40単位(前期20単位・後期20単位)、3年次40単位(前期20単位・後期20単位)、4年次48単位(前期24単位・後期24単位)</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- 適正なクラス数の配置により、「英語初級A」の教員の配置を〔兼任・兼任2〕から〔兼任・兼任7〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「英語初級B」の教員の配置を〔兼任・兼任2〕から〔兼任・兼任9〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「英語準中級A」の教員の配置を〔兼任・兼任2〕から〔兼任・兼任8〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「英語準中級B」の教員の配置を〔兼任・兼任2〕から〔兼任・兼任11〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「英語中級A」の教員の配置を〔兼任・兼任2〕から〔兼任・兼任10〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「英語中級B」の教員の配置を〔兼任・兼任2〕から〔兼任・兼任15〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「英語準上級A」の教員の配置を〔兼任・兼任2〕から〔兼任・兼任9〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「英語準上級B」の教員の配置を〔兼任・兼任2〕から〔兼任・兼任14〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「英語上級1A」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「英語上級1B」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「英語上級2A」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「英語上級2B」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「日本語初級Ⅰ」の教員の配置を〔兼任・兼任3〕から〔兼任・兼任8〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「日本語初級Ⅱ」の教員の配置を〔兼任・兼任4〕から〔兼任・兼任12〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「日本語初級Ⅲ」の教員の配置を〔兼任・兼任4〕から〔兼任・兼任1〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「日本語中級」の教員の配置を〔兼任・兼任4〕から〔兼任・兼任18〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「中国語Ⅰ」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任7〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「中国語Ⅱ」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任5〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「中国語ⅢA」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任3〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「中国語Ⅲ」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任4〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「韓国語Ⅰ」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任3〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「マレー・インドネシア語Ⅰ」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任5〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「マレー・インドネシア語Ⅱ」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任3〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「マレー・インドネシア語ⅢA」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「マレー・インドネシア語ⅢB」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「スペイン語Ⅰ」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任4〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「スペイン語Ⅱ」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任4〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「タイ語Ⅰ」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「ベトナム語Ⅰ」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「ベトナム語Ⅱ」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「集中言語研修」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任9〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「特殊講義（言語教育科目）」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任6〕に変更。
- 適切な単位認定を行うため、認定科目「言語教育科目分野（英語）」を新規科目として追加。
- 適切な単位認定を行うため、認定科目「言語教育科目分野（日本語）」を新規科目として追加。
- 適切な単位認定を行うため、認定科目「言語教育科目分野（アジア太平洋言語）」を新規科目として追加。
- 適切な単位認定を行うため、認定科目「言語教育科目分野（遠隔）」を新規科目として追加。
- 適正なクラス数の配置により、「観光学入門」の教員の配置を〔准教授1、助教1〕から〔教授1、准教授2、助教1〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「持続可能な開発入門」の教員の配置を〔教授1〕から〔教授1、助教1〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「スチューデントサクセスワークショップ」の教員の配置を〔兼任・兼任10〕から〔助教1、兼任・兼任16〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「多文化協働ワークショップ」の教員の配置を〔准教授1、兼任・兼任7〕から〔准教授1、助教1、兼任・兼任13〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「平和・ヒューマンリティ・民主主義」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「異文化間コミュニケーション入門」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「異文化フィールドワークⅠ」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔准教授1、兼任・兼任3〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「異文化フィールドワークⅡ」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「多文化比較論」の教員の配置を〔兼任・兼任2〕から〔教授1、兼任・兼任4〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「グローバルリーダーシップの基礎」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任5〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「ブリッジプログラム」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔准教授1〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「アジア太平洋の言語」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「アジア太平洋の宗教」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任3〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「アジア太平洋の地理」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「アジア太平洋の文化と社会」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任4〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「アジア太平洋の歴史」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「日本の政治と社会」の教員の配置を〔兼任・兼任2〕から〔兼任・兼任3〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「日本のポピュラーカルチャー」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「日本の歴史」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「日本国憲法」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「特殊講義（日本学）」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「政策学入門」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔准教授1、助教1、兼任・兼任3〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「メディア学入門」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「国際関係論入門」の教員の配置を〔兼任・兼任3〕から〔兼任・兼任5〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「比較政治学入門」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任4〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「世界経済とグローバル課題」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「経済学入門」の教員の配置を〔兼任・兼任3〕から〔兼任・兼任7〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「基礎数学」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任4〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「法学」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任3〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「心理学」の教員の配置を〔教授1〕から〔教授1、兼任・兼任1〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「生命倫理」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「AIと社会」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「西洋哲学」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任3〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「中国哲学」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「近現代の科学技術」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「ネゴシエーションスキル」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「論理とクリティカルシンキング」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「キャリア形成のための自己分析」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「キャリア形成のための多様な視点」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任2〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「特殊講義（共通教養科目）」の教員の配置を〔兼任・兼任2〕から〔教授2、准教授2、助教1、兼任・兼任10〕に変更。
- 適切な単位認定を行うため、「情報処理入門」の教員の配置を〔准教授1、助教1〕から〔准教授2、兼任・兼任3〕に変更。
- 適切な単位認定を行うため、「プログラミング入門」の教員の配置を〔准教授1、兼任・兼任3〕から〔准教授1、兼任・兼任5〕に変更。
- 適切な単位認定を行うため、「情報リテラシー」の教員の配置を〔准教授1〕から〔教授1、准教授1、兼任・兼任1〕に変更。
- 認定科目「共通教養科目分野（遠隔）」を新規科目として追加。
- 担当教員の職位変更により、「観光地マーケティング」の教員の配置を〔准教授1、助教1〕から〔准教授2、助教0〕に変更。
- 担当教員の職位変更により、「ホスピタリティ・オペレーション」の教員の配置を〔准教授1、助教1〕から〔准教授2、助教0〕に変更。
- 担当教員の職位変更により、「リゾート・マーケティング」の教員の配置を〔准教授1、助教1〕から〔准教授2、助教0〕に変更。
- 担当教員の職位変更により、「フード&ビバレッジ・オペレーション」の教員の配置を〔助教1〕から〔准教授1〕に変更。
- 適正なクラス数の配置により、「生物多様性」の教員の配置を〔教授1〕から〔教授1、助教1〕に変更。

- ・適正なクラス数の配置により、「環境汚染と防止」の教員の配置を〔教授1〕から〔准教授1〕に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「インターネット技術とアプリケーション」の教員の配置を〔教授1、准教授1〕から〔教授1〕に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「会計入門」の教員の配置を〔准教授1〕から〔准教授1、兼任・兼任1〕に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「経営学入門」の教員の配置を〔兼任・兼任1〕から〔兼任・兼任5〕に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「マーケティング入門」の教員の配置を〔兼任・兼任2〕から〔兼任・兼任5〕に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「経営戦略」の教員の配置を〔准教授1、助教1〕から〔准教授2、助教0〕に変更。
- ・適切な単位認定を行うため、認定科目「専門教育科目分野（遠隔）」を新規科目として追加。
- ・適正なクラス数の配置により、「社会調査法入門」の教員の配置を〔教授2〕から〔准教授1〕に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「質的分析技法」の教員の配置を〔教授1〕から〔教授1、助教1〕に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「文献講読Ⅰ」の教員の配置を〔教授5、助教2〕から〔教授5、准教授1、助教1〕に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「文献講読Ⅱ」の教員の配置を〔教授5、助教2〕から〔教授5、准教授1、助教1〕に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「経営戦略」の教員の配置を〔准教授1、助教1〕から〔准教授2、助教0〕に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「専門実習」の教員の配置を〔教授5、准教授1〕から〔教授4、准教授3、助教1、兼任・兼任3〕に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「フィールド・スタディ」の教員の配置を〔教授4、准教授1〕から〔教授6、准教授1、助教2、兼任・兼任1〕に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「専門演習」の教員の配置を〔准教授5、助教3〕から〔准教授6、助教2〕に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「卒業研究」の教員の配置を〔准教授5、助教3〕から〔准教授6、助教2〕に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「卒業プロジェクト」の教員の配置を〔准教授5、助教3〕から〔准教授6、助教2〕に変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
7 科目	203 科目	0 科目	210 科目	7 科目 [0]	209 科目 [6]	0 科目 [0]	216 科目 [6]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{210} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地よりその他敷 地へ変更213.29㎡減 (令和5)		
	校 舎 敷 地	314,540.48㎡ 314,753.77㎡	0.00㎡	0.00㎡	314,540.48㎡ 314,753.77㎡			
	運 動 場 用 地	41,810.00㎡	0.00㎡	0.00㎡	41,810.00㎡			
	小 計	356,350.48㎡ 356,563.77㎡	0.00㎡	0.00㎡	356,350.48㎡ 356,563.77㎡			
	そ の 他	70,836.72㎡ 70,623.43㎡	0.00㎡	0.00㎡	70,836.72㎡ 70,623.43㎡			
	合 計	427,187.20㎡	0.00㎡	0.00㎡	427,187.20㎡			
(2) 校 舎	専 用	68,780.45㎡ 69,042.21㎡	0.00㎡	0.00㎡	68,780.45㎡ 69,042.21㎡	登記面積の確定による 変更261.76㎡減(令和 5)		
	(68,780.45㎡) 69,042.21㎡	(0.00㎡)	(0.00㎡)	(68,780.45㎡) 69,042.21㎡				
(3) 教 室 等	講 義 室	58室	35室	0室 2室	22室 23室	D棟、F11棟の改修(令 和5)		
	演 習 室				30室 27室			
(4) 専任教員研究室	講 義 室				22室 23室	D棟、F11棟の改修(令 和5)		
	演 習 室				30室 27室			
(5) 新設学部等 の名称	講 義 室				22室 23室	D棟、F11棟の改修(令 和5)		
	演 習 室				30室 27室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	大学で共用
	サステイナビリティ 観光学部 サステイナビリティ 観光学科	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点	
(6) 図 書 館	面 積	5,811.9㎡	1,037	289,700	大学全体			
	閱 覧 座 席 数							
(7) 体 育 館	面 積	2,950.67㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
	閱 覧 座 席 数							
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。
	教員1人当たり研究費等	959千円	959千円	図書購入費	27,500千円	27,500千円	27,500千円	
	共同研究費等	2,800千円	2,800千円	設備購入費	109,350千円	109,350千円	39,350千円	
	学生1人当たり 納付金	第1年次 1,500千円	第2年次 1,500千円	第3年次 1,500千円	第4年次 1,500千円	第5年次 —千円	第6年次 —千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要	手数料収入、寄付金収入及び補助金収入等により維持する。						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	立命館アジア太平洋大学						1	1	1	1	1	開設 年度	所在地	備 考
	平均入学定員 超過率0.7倍以 下の学科数	平均入学定員 超過率1.15倍 以上の学科数	1	1	1	1								
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学 位 又 は 称 号	平均入学 定員超過率	平均入学 定員超過率 (控除後)	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	備 考	
サステイナビリティ 観光学部	4	350	0	350	-	0.74	-	0.74	-	令和5	令和5	大分県別府市十 文字原1丁目1番		
サステイナビ リティ観光学科	4	350	0	350	学士 (サステイナ ビリティ観 光学)	0.74	-	0.74	-	令和5	令和5	同上		
アジア太平洋学部	4	510	2年次 5	2,542	-	0.86	-	0.86	-	-	平成12	同上		
アジア太平洋学科	4	510	3年次 5	2,542	学士 (アジア太 平洋学)	0.86	-	0.86	-	-	平成12	同上	令和5年度から入学定員変更 (660→510)	
国際経営学部	4	610	2年次 5	2,675	-	0.83	-	0.83	-	-	平成12	同上		
国際経営学科	4	610	3年次 5	2,675	学士 (経営学)	0.83	-	0.83	-	-	平成12	同上	令和4年度から入学定員変更 (660→610)	
大学全体	4	1,470	2年次 10 3年次 10	5,567	-	-	-	-	-	-	-	-	※(本表全体について)令和5年度の秋季入学人数は 本表作成時点で未確定のため、含んでいない	

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<サステイナビリティ観光学部 サステイナビリティ観光学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	リエン 李燕 (59) <令和5年4月> 博士(工学)
		言語教育科目分野 共通教養科目分野 専門教育科目分野(観光学) 専門教育科目分野(持続可能な社会) 専門教育科目分野(学部共通) 社会調査法入門 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ キャップストーン
専	教授	イカワ タカ 石川 剛生 (57) <令和5年4月> Master of International Development Policy 【7月】
		国際開発協力 開発政策 文献講読Ⅱ 専門実習 フィールド・スタディ
専	教授	ヴァファダリ カゼム VAFADARI M. Kazem (49) <令和5年4月> 博士(アジア太平洋学)
		サステイナブルツーリズム 農村開発と観光 社会調査法入門 専門実習 フィールド・スタディ 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
専	教授	キム リキ 木村 力央 (54) <令和5年4月> Ed. D. 【イギリス】
		開発社会学・人類学 開発と経済 コミュニティ開発論 文献講読Ⅰ フィールド・スタディ 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
専	教授	クボ タケキ 久保 隆行 (57) <令和5年4月> 博士(経済学)
		MICE産業論 観光地開発と計画 都市デザイン 専門実習 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
		ジョーンズ トマス エドワード JONES Thomas Edward (43) <令和5年4月> 博士(農学)

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学部長)	リエン 李燕 (59) <令和5年4月> 博士(工学)
		言語教育科目分野 言語教育科目分野(英語) 言語教育科目分野(日本語) 言語教育科目分野(アジア太平洋言語) 言語教育科目分野(遠隔) 共通教養科目分野 共通教養科目分野(遠隔) 専門教育科目分野(観光学) 専門教育科目分野(持続可能な社会) 専門教育科目分野(学部共通) 専門教育科目分野(遠隔) 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ キャップストーン
専	教授	イカワ タカ 石川 剛生 (57) <令和5年4月> Master of International Development Policy 【7月】
		国際開発協力 開発政策 文献講読Ⅱ フィールド・スタディ
専	教授	ヴァファダリ カゼム VAFADARI M. Kazem (49) <令和5年4月> 博士(アジア太平洋学)
		サステイナブルツーリズム 農村開発と観光 専門実習 フィールド・スタディ 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
専	教授	キム リキ 木村 力央 (54) <令和5年4月> Ed. D. 【イギリス】
		開発社会学・人類学 開発と経済 コミュニティ開発論 文献講読Ⅰ フィールド・スタディ 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
専	教授	クボ タケキ 久保 隆行 (57) <令和5年4月> 博士(経済学)
		MICE産業論 観光地開発と計画 都市デザイン 専門実習 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
		ジョーンズ トマス エドワード JONES Thomas Edward (43) <令和5年4月> 博士(農学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	環境と社会 生物多様性 公園と保護地域 文献講読Ⅰ 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト	専	教授	環境と社会 生物多様性 公園と保護地域 文献講読Ⅰ 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
専	教授	スウ トモリ 須藤 智徳 (57) <令和5年4月> 博士(学術)	専	教授	スウ トモリ 須藤 智徳 (57) <令和5年4月> 博士(学術)
専	教授	持続可能な開発入門 環境政策とガバナンス 環境経済学 開発と経済 文献講読Ⅱ フィールド・スタディ 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト キャップストーン	専	教授	持続可能な開発入門 環境政策とガバナンス 環境経済学 開発と経済 文献講読Ⅱ フィールド・スタディ 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト キャップストーン
専	教授	ツチノ タカ 土橋 卓也 (62) <令和5年4月> 学士(法学)	専	教授	ツチノ タカ 土橋 卓也 (62) <令和5年4月> 学士(法学)
専	教授	インターンシップ 観光とメディア レベニュー・マネジメント 特殊講義(専門教育科目) フィールド・スタディ 専門インターンシップ	専	教授	インターンシップ 観光とメディア レベニュー・マネジメント 特殊講義(専門教育科目) フィールド・スタディ 専門インターンシップ
専	教授	トノキ ヒロシ 轟 博志 (51) <令和5年4月> Ph. D. (Geography) 【韓国】	専	教授	トノキ ヒロシ 轟 博志 (51) <令和5年4月> Ph. D. (Geography) 【韓国】
専	教授	観光文化論 遺産観光論 質的分析技法 専門実習 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト	専	教授	観光文化論 遺産観光論 質的分析技法 フィールド・スタディ 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
専	教授	ニシヤンタ キグウガ NISHANTHA GIGURUWA G. D. (51) <令和5年4月> 博士(情報工学)	専	教授	ニシヤンタ キグウガ NISHANTHA GIGURUWA G. D. (51) <令和5年4月> 博士(情報工学)
専	教授	AIとデータサイエンス GIS入門 インターネット技術とアプリケーション ニューテクノロジーと未来社会 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト	専	教授	特殊講義(共通教養科目) 情報リテラシー AIとデータサイエンス GIS入門 インターネット技術とアプリケーション ニューテクノロジーと未来社会 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
専	教授	ハンジ 韓 驥 (44) <令和5年4月> 博士(工学)	専	教授	ハンジ 韓 驥 (44) <令和5年4月> 博士(工学)
専	教授	気候変動 環境汚染と防止 循環型社会論 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト	専	教授	気候変動 循環型社会論 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
専	教授	ピシバ ダバー PISHVA Davar (64) <令和5年4月> 博士(システム工学)	専	教授	ピシバ ダバー PISHVA Davar (64) <令和5年4月> 博士(システム工学)
専	教授	特殊講義(ICT) GISとリモートセンシング システムモデリング 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト	専	教授	特殊講義(ICT) GISとリモートセンシング システムモデリング 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ブイ タン フォン BUI Thanh Huong (48) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Tourism Management) 【オーストラリア】
		観光経済学 MICE産業論 レベニュー・マネジメント 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
専	教授	メイマンノフ セリク MEIRMANOV Serik (49) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		心理学 ウェルネス ヘルス&ウェルネスツーリズム 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
専		
専	教授	ヨシモト ユキオ 四本 幸夫 (56) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Sociology) 【7月】
		社会学入門 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 専門実習 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト キャップストーン
専	准教授	ウエハラ ユウコ 上原 優子 (54) ＜令和5年4月＞ 博士(プロフェッショナル会計学)
		多文化協働ワークショップ サステイナブルビジネス 会計入門 経営戦略 ソーシャルアントレプレナーシップ NPO/NGO論 専門実習 フィールド・スタディ 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
専	准教授	オハシ ヒロキ 大橋 弘明 (49) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Urban and Regional Planning) 【イギリス】
		サステイナブル都市開発と計画 レジリエント都市論 NPO/NGO論 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
		カノ エイジ 狩野 英司 (49) ＜令和5年4月＞ 博士(システムズ・マネジメント)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	ブイ タン フォン BUI Thanh Huong (49) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Tourism Management) 【オーストラリア】
		多文化比較論 特殊講義(共通教養科目) 観光経済学 MICE産業論 レベニュー・マネジメント 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
専	教授	メイマンノフ セリク MEIRMANOV Serik (49) ＜令和5年4月＞ 博士(医学)
		心理学 ウェルネス ヘルス&ウェルネスツーリズム 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
専	教授	ヨシタリ キヨシ 吉澤 清良 (55) ＜令和5年4月＞ 学士(社会学)
		観光学入門 専門実習 フィールド・スタディ
専	教授	ヨシモト ユキオ 四本 幸夫 (56) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Sociology) 【7月】
		社会学入門 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 専門実習 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト キャップストーン
専	准教授	ウエハラ ユウコ 上原 優子 (54) ＜令和5年4月＞ 博士(プロフェッショナル会計学)
		サステイナブルビジネス 会計入門 経営戦略 ソーシャルアントレプレナーシップ NPO/NGO論 フィールド・スタディ 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
専	准教授	オハシ ヒロキ 大橋 弘明 (49) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Urban and Regional Planning) 【イギリス】
		サステイナブル都市開発と計画 レジリエント都市論 NPO/NGO論 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
		カノ エイジ 狩野 英司 (49) ＜令和5年4月＞ 博士(システムズ・マネジメント)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
専	准教授	社会科学のための統計学 インターネット技術とアプリケーション ニューテクノロジーと未来社会 プロジェクトマネジメント 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト	専	准教授 社会科学のための統計学 ブリッジプログラム 政策学入門 情報処理入門 ニューテクノロジーと未来社会 プロジェクトマネジメント 専門実習 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
			専	准教授 コヒュ 胡飛瓊 (38) ＜令和5年4月＞ Ph.D. in Computer Science 【ニューゼラント】
				多文化協働ワークショップ 異文化フィールドワーク I 社会調査法入門 専門実習
専	助教	孙 怡 SUN Yiyang (34) ＜令和5年4月＞ Ph.D. (School of Hotel and Tourism management) 【香港】	専	准教授 孙 怡 SUN Yiyang (34) ＜令和5年4月＞ Ph.D. (School of Hotel and Tourism management) 【香港】
			専	准教授 観光学入門 観光地マーケティング ホスピタリティ・オペレーション リゾート・マーケティング フード&ビバレッジ・オペレーション 経営戦略 文献講読 I 文献講読 II 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
				観光学入門 観光地マーケティング ホスピタリティ・オペレーション リゾート・マーケティング フード&ビバレッジ・オペレーション 経営戦略 文献講読 I 文献講読 II 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
専	准教授	ダハラン ナリマン DAHLAN Nariman (51) ＜令和5年4月＞ 修士(工学)	専	准教授 ダハラン ナリマン DAHLAN Nariman (51) ＜令和5年4月＞ 修士(工学)
			専	准教授 社会科学のための統計学 情報処理入門 プログラミング入門 情報リテラシー 特殊講義 (ICT) ビッグデータ分析 応用統計分析
				社会科学のための統計学 情報処理入門 プログラミング入門 情報リテラシー 特殊講義 (ICT) ビッグデータ分析 応用統計分析
専	准教授	マノ ユウジ 松尾 雄司 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(社会システム分析)	専	准教授 マノ ユウジ 松尾 雄司 (50) ＜令和5年4月＞ 博士(社会システム分析)
			専	准教授 特殊講義(共通教養科目) 気候変動 環境汚染と防止 資源マネジメント エネルギーマネジメント 専門実習 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
				特殊講義(共通教養科目) 気候変動 環境汚染と防止 資源マネジメント エネルギーマネジメント 専門実習 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
専	准教授	ユン スホ YOUN Seung Ho (48) ＜令和5年4月＞ Ph.D. (Psychology) 【イギリス】	専	准教授 ユン スホ YOUN Seung Ho (49) ＜令和5年4月＞ Ph.D. (Psychology) 【イギリス】
			専	准教授 観光学入門 観光地マーケティング ホスピタリティ・オペレーション サービス・エクスペリエンス リゾート・マーケティング 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
				観光学入門 観光地マーケティング ホスピタリティ・オペレーション サービス・エクスペリエンス リゾート・マーケティング 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト
			専	助教 カスイ(カワ) リエ 笛吹(ウルフ) 理絵 (36) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	<p>ディマケ アレクサンドル DIMACHE Alexandru (38) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Tourism management) 【香港】</p> <p>観光学入門 遺産観光論 観光とメディア スペシャルインタレスト・ツーリズム ソーシャルアントレプレナーシップ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト</p>
専	助教	<p>ブカンバ キモ ヘルマン BOUKAMBA Kimo Hermann (36) ＜令和5年4月＞ 博士(観光学)</p> <p>社会学入門 観光社会学 ツーリズム・オペレーション サービス・エクスペリエンス 観光地開発と計画 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト</p>
兼任	教授	<p>アルcantara ライラニ ライネサ ALCANTARA Lailani Laynesa (44) ＜令和5年4月＞ 博士(経営学)</p> <p>組織行動論</p>
兼任	准教授	<p>オウガ コウザク 大塚 宏蔵 (50) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Economics) 【オーストラリア】</p> <p>スチューデントサクセスワークショップ 経済学入門</p>
兼任	教授	<p>カン ムハマト タヒル KHAN Muhammad Tahir Abbas (55) ＜令和5年4月＞ 博士(情報工学)</p> <p>情報処理入門 プログラミング入門 データベースシステム</p>
兼任	教授	<p>カセガ ヨシノリ 総田 芳憲 (54) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Political Science) 【アメリカ】</p> <p>国際関係論入門</p>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	<p>ケシーディペンドラ K C Dipendra (32) ＜令和5年4月＞ Doctor of Philosophy in Development Administration 【タイ】</p> <p>社会学入門 政策学入門 フィールド・スタディ</p>
専	助教	<p>ディマケ アレクサンドル DIMACHE Alexandru (38) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Tourism management) 【香港】</p> <p>特殊講義(共通教養科目) 遺産観光論 観光とメディア スペシャルインタレスト・ツーリズム ソーシャルアントレプレナーシップ 文献講読Ⅰ 文献講読Ⅱ 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト</p>
専	助教	<p>ブカンバ キモ ヘルマン BOUKAMBA Kimo Hermann (36) ＜令和5年4月＞ 博士(観光学)</p> <p>観光学入門 多文化協働ワークショップ 観光社会学 ツーリズム・オペレーション サービス・エクスペリエンス 観光地開発と計画 専門実習 専門演習 卒業研究 卒業プロジェクト</p>
専	助教	<p>ヤマネ トモミ 山根 友美 (41) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)</p> <p>持続可能な開発入門 スチューデントサクセスワークショップ フィールド・スタディ</p>
兼任	教授	<p>アルcantara ライラニ ライネサ ALCANTARA Lailani Laynesa (44) ＜令和5年4月＞ 博士(経営学)</p> <p>組織行動論</p>
兼任	教授	<p>オウガ コウザク 大塚 宏蔵 (50) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Economics) 【オーストラリア】</p> <p>経済学入門</p>
兼任	教授	<p>カン ムハマト タヒル KHAN Muhammad Tahir Abbas (55) ＜令和5年4月＞ 博士(情報工学)</p> <p>情報処理入門 プログラミング入門 データベースシステム</p>
兼任	教授	<p>カセガ ヨシノリ 総田 芳憲 (54) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Political Science) 【アメリカ】</p> <p>国際関係論入門</p>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	カッティング 美紀 (52) ＜令和5年4月＞ Master of Arts (English as a Second Language) 【7月】 スチューデントサクセスワークショップ 多文化協働ワークショップ 海外学習デザイン グローバルリーダーシップのためのスキルと実践 ソーシャルインパクトのためのグローバルリーダーシップ 特殊講義(共通教養科目)
兼任	教授	キカワ タロウ 吉川 卓郎 (49) ＜令和5年4月＞ 博士(国際関係学) スチューデントサクセスワークショップ 多文化比較論 政治学入門
兼任	教授	キム チンフェ 金 贊會 (64) ＜令和5年4月＞ 博士(文学) アジア太平洋の文化と社会
兼任	教授	ゴトビ ナデル ゴトビ ナデル (55) ＜令和5年4月＞ 博士(現代経済学) スチューデントサクセスワークショップ 生命倫理 ウェルネス
兼任	教授	サトウ ヨウイチロウ 佐藤 洋一郎 (56) ＜令和5年4月＞ Ph.D. (Political Science) 【7月】 特殊講義(日本学) 比較政治学入門 開発政治論
兼任	教授	セイケ ミ 清家 久美 (60) ＜令和5年4月＞ 修士(社会学) 文化人類学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	カッティング 美紀 (52) ＜令和5年4月＞ Master of Arts (English as a Second Language) 【7月】 スチューデントサクセスワークショップ 多文化協働ワークショップ 海外学習デザイン グローバルリーダーシップのためのスキルと実践 ソーシャルインパクトのためのグローバルリーダーシップ
兼任	教授	キカワ タロウ 吉川 卓郎 (49) ＜令和5年4月＞ 博士(国際関係学) 多文化比較論 比較政治学入門
兼任	教授	キム チンフェ 金 贊會 (64) ＜令和5年4月＞ 博士(文学) アジア太平洋の文化と社会
兼任	教授	クラスター ウィリアム ビー CLUSTER William B. (69) ＜令和5年4月＞ 博士(アジア太平洋学) プログラミング入門
兼任	教授	ゴトビ ナデル ゴトビ ナデル (55) ＜令和5年4月＞ 博士(現代経済学) ウェルネス
兼任	教授	サトウ ヨウイチロウ 佐藤 洋一郎 (56) ＜令和5年4月＞ Ph.D. (Political Science) 【7月】 スチューデントサクセスワークショップ 比較政治学入門 開発政治論
兼任	教授	サザール ロバート ジー SALAZAR Robert A. C. (69) ＜令和5年4月＞ Ph.D. (Anthropology) 【7月】 アジア太平洋の文化と社会
兼任	教授	シノ キエ 兼 喜美恵 (66) ＜令和5年4月＞ Master of Arts 【待リ】 スチューデントサクセスワークショップ 多文化協働ワークショップ グローバルリーダーシップの基礎
兼任	教授	セイケ ミ 清家 久美 (60) ＜令和5年4月＞ 修士(社会学) スチューデントサクセスワークショップ 文化人類学
兼任	教授	セビニー ポール SEVIGNY Paul (58) ＜令和5年4月＞ Master of Arts (Applied Linguistics) 【7月】 英語準中級B 英語上級1A

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	カカリ シンイチ 竹川 俊一 (57) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Political Science) 【7月】
		日本の政治と社会
兼任	教授	カハラ ヒロキ 田原 洋樹 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(総合社会情報)
		ベトナム語Ⅰ ベトナム語Ⅱ ベトナム語Ⅲ 言語グローバルラーニング(ベトナム語)-A 言語グローバルラーニング(ベトナム語)-B アジア太平洋言語入門 アジア太平洋の言語
兼任	教授	チェン シューチン CHEN Shu-Ching (58) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Marketing) 【オーストラリア】
		マーケティング入門
兼任	教授	ヒライ タツヤ 平井 達也 (52) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Counseling Psychology) 【7月】
		多文化協働ワークショップ キャリア形成のための自己分析 特殊講義(共通教養科目)
兼任	教授	フジモト タツ 藤本 武士 (49) ＜令和5年4月＞ 博士(経営学)
		キャリア形成のための多様な視点 キャリア形成のためのキャリア分野分析 マーケティング入門
兼任	教授	フナノエ ヒデキ 淵ノ上 英樹 (54) ＜令和5年4月＞ 博士(経済学)
		平和・ヒューマニティ・民主主義 経済学入門 紛争と開発
兼任	教授	ブラックウェル ジェームズ BLACKWELL James (51) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Applied Linguistics) 【イギリス】
		TESOL 特殊講義(言語教育科目)

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	カカリ シンイチ 竹川 俊一 (57) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Political Science) 【7月】
		日本の政治と社会
兼任	教授	カハラ ヒロキ 田原 洋樹 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(総合社会情報)
		アジア太平洋言語入門 アジア太平洋の言語
兼任	教授	チェン シューチン CHEN Shu-Ching (58) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Marketing) 【オーストラリア】
		マーケティング入門
兼任	教授	ナツタ ユウ 夏田 郁 (51) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Economics) 【オーストラリア】
		経済学入門
兼任	教授	ヒライ タツヤ 平井 達也 (52) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Counseling Psychology) 【7月】
		スチューデントサクセスワークショップ 多文化協働ワークショップ 異文化フィールドワークⅠ キャリア形成のための自己分析
兼任	教授	フーイ キヤム ライ ワン HOOI Carol Lai-Wan (64) ＜令和5年4月＞ Ph. D. in Business Administration 【マレーシア】
		多文化協働ワークショップ ネゴシエーションスキル
兼任	教授	フジタ マサノリ 藤田 正典 (59) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		経営学入門
兼任	教授	フジモト タツ 藤本 武士 (49) ＜令和5年4月＞ 博士(経営学)
		キャリア形成のための多様な視点 キャリア形成のためのキャリア分野分析 マーケティング入門
兼任	教授	フナノエ ヒデキ 淵ノ上 英樹 (54) ＜令和5年4月＞ 博士(経済学)
		平和・ヒューマニティ・民主主義 経済学入門 紛争と開発
兼任	教授	ブラックウェル ジェームズ BLACKWELL James (51) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Applied Linguistics) 【イギリス】
		英語準中級B TESOL

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	ホダガ(ヨネガ) アキコ 本田(米田) 明子 (61) ＜令和5年4月＞ 博士(言語文化学)
		日本語・日本社会 日本語教育のための日本語学 日本語教授法
兼任	教授	マンテロ ピーター MANTELLO Peter A. (63) ＜令和5年4月＞ Master of Fine Arts in Media Arts 【カナダ】
		AIと社会
兼任	教授	ヤマカタ タツミ 山形 辰史 (59) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Economics) 【アメリカ】
		世界経済とグローバル課題
兼任	教授	ヨシダ カオリ 吉田 香織 (54) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Asian Studies) 【カナダ】
		日本の政治と社会 日本のポピュラーカルチャー メディア学入門
兼任	教授	ローズ ジョン ROSE John A. (58) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Engineering) 【アメリカ】
		ウェブデザイン プログラミング入門 メディア制作ラボ 特殊講義 (ICT) 情報システムプログラミング
兼任	准教授	ウエイズ ウツパル VYAS Utpal (46) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (International Relations) 【イギリス】
		多文化比較論 国際関係論入門 政治学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	プログラー ジョセフ PROGLER Joseph (62) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (American Studies) 【アメリカ】
		多文化比較論
兼任	教授	ホダガ(ヨネガ) アキコ 本田(米田) 明子 (61) ＜令和5年4月＞ 博士(言語文化学)
		日本語・日本社会 日本語教育のための日本語学 日本語教授法
兼任	教授	マンテロ ピーター MANTELLO Peter A. (64) ＜令和5年4月＞ Master of Fine Arts in Media Arts 【カナダ】
		メディア学入門 AIと社会
兼任	教授	ヤマカタ タツミ 山形 辰史 (59) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Economics) 【アメリカ】
		世界経済とグローバル課題
兼任	教授	ヨシダ カオリ 吉田 香織 (54) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Asian Studies) 【カナダ】
		日本のポピュラーカルチャー メディア学入門
兼任	教授	ヨシタ ヒデアキ 吉松 秀孝 (63) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (International Relations) 【オーストラリア】
		多文化比較論
兼任	教授	ローズ ジョン ROSE John A. (58) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Engineering) 【アメリカ】
		ウェブデザイン プログラミング入門 メディア制作ラボ 特殊講義 (ICT) 情報システムプログラミング
兼任	准教授	ウエイズ ウツパル VYAS Utpal (46) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (International Relations) 【イギリス】
		多文化比較論 国際関係論入門 比較政治学入門
兼任	准教授	ウズレイ ブライアン ゴードン USREY Bryan Gordon (34) ＜令和5年4月＞ Ph. D. in Management 【イギリス】
		マーケティング入門
兼任	准教授	キンイ シュウスケ 金井 秀介 (57) ＜令和5年4月＞ 修士(経営管理)
		スチューデントサクセスワークショップ 多文化協働ワークショップ キャリア形成のための多様な視点 特殊講義(共通教養科目)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	准教授	キム ヤングン KIM Young Sun (43) ＜令和5年4月＞ Ph. D. in Management 【アメリカ】
					経営学入門
兼任	准教授	コウガマ リンタロウ 高妻 倫太郎 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(数理学)	兼任	准教授	コウガマ リンタロウ 高妻 倫太郎 (44) ＜令和5年4月＞ 博士(数理学)
					基礎数学 上級数学 プログラミング入門
兼任	准教授	ゴメズ オスカル アンドレス GOMEZ Oscar A. (42) ＜令和5年4月＞ 博士(環境科学)	兼任	准教授	ゴメズ オスカル アンドレス GOMEZ Oscar A. (42) ＜令和5年4月＞ 博士(環境科学)
					多文化協働ワークショップ
兼任	准教授	サイト ヒロキ 齊藤 広晃 (38) ＜令和5年4月＞ Ph. D. 【オーストラリア】	兼任	准教授	サイト ヒロキ 齊藤 広晃 (39) ＜令和5年4月＞ Ph. D. 【オーストラリア】
					組織行動論
兼任	准教授	サカエ ヒロト 佐藤 浩人 (43) ＜令和5年4月＞ 博士(経営学)			
					スチューデントサクセスワークショップ
			兼任	准教授	スミタ タケ 住田 環 (57) ＜令和5年4月＞ 博士(教育学)
					集中言語研修 特殊講義(言語教育科目)
兼任	准教授	タヤマ ヒロキ 立山 博邦 (51) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Anthropology) 【カナダ】	兼任	准教授	タヤマ ヒロキ 立山 博邦 (51) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Anthropology) 【カナダ】
					スチューデントサクセスワークショップ 多文化協働ワークショップ 異文化フィールドワーク I 異文化フィールドワークII グローバルリーダーシップの基礎
兼任	准教授	チョウ アンセイ 張 文青 (53) ＜令和5年4月＞ 修士(国際関係学)	兼任	准教授	チョウ アンセイ 張 文青 (53) ＜令和5年4月＞ 修士(国際関係学)
					中国語 I 中国語 II 中国語III A 中国語III B 言語グローバルラーニング(中国語)-A 言語グローバルラーニング(中国語)-B 集中言語研修
兼任	准教授	チョン ジョンヒ JUNG Jong Hee (39) ＜令和5年4月＞ Masters of Arts (Applied Linguistics and Culture Studies) 【韓国】	兼任	准教授	チョン ジョンヒ JUNG Jong Hee (39) ＜令和5年4月＞ Masters of Arts (Applied Linguistics and Culture Studies) 【韓国】
					韓国語 I 韓国語 II 韓国語 III 韓国語 IV 言語グローバルラーニング(韓国語)-A 言語グローバルラーニング(韓国語)-B 多文化協働ワークショップ
			兼任	准教授	韓国語 IV 言語グローバルラーニング(韓国語) B 集中言語研修

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	ツツイ(フジワラ) クミコ 筒井(藤原) 久美子 (52) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Speech Communications) 【7月】
		多文化協働ワークショップ 異文化間コミュニケーション入門 プレゼンテーションプログラム 異文化間コミュニケーションの応用と実践
兼任	准教授	テラジマ ヒロミチ 寺嶋 弘道 (47) ＜令和5年4月＞ 修士(言語教育情報学)
		日本語・日本文化 漢字・語彙スキルアップ 自己表現のための日本語
兼任	准教授	ナカガミ マサフミ 中神 正史 (52) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		スチューデントサクセスワークショップ 経済学入門
兼任	准教授	ヌノ カウイチロウ 布尾 勝一郎 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(言語文化学)
		日本語初級Ⅰ 日本語初級Ⅱ 日本語初級Ⅲ
兼任	准教授	ハスタ ケン 蓮田 隆志 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		スチューデントサクセスワークショップ 多文化協働ワークショップ アジア太平洋の歴史 日本の歴史
兼任	准教授	パティソン スティーブ PATTISON Steven C. (51) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Linguistics and English Language) 【待リ】
		英語初級B 英語コミュニケーション・スキル 英語小説講読
兼任	准教授	ベルガー マコ ベルガー 舞子 (44) ＜令和5年4月＞ Master of Education (TESOL) 【待リ】
		英語準中級B 英語中級B 英語検定試験対策講座Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	サトウ タカシ 塚本 崇 (48) ＜令和5年4月＞ Ph. D. in Political Science and International Relations 【オーストラリア】
		スチューデントサクセスワークショップ
兼任	准教授	ツツイ(フジワラ) クミコ 筒井(藤原) 久美子 (52) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Speech Communications) 【7月】
		スチューデントサクセスワークショップ 異文化間コミュニケーション入門 異文化間コミュニケーションの応用と実践
兼任	准教授	テラジマ ヒロミチ 寺嶋 弘道 (47) ＜令和5年4月＞ 修士(言語教育情報学)
		日本語・日本文化 漢字・語彙スキルアップ 自己表現のための日本語
兼任	准教授	ナカガミ マサフミ 中神 正史 (52) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		経済学入門
兼任	准教授	ヌノ カウイチロウ 布尾 勝一郎 (51) ＜令和5年4月＞ 博士(言語文化学)
		日本語初級Ⅱ
兼任	准教授	ハスタ ケン 蓮田 隆志 (48) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		日本の歴史
兼任	准教授	パティソン スティーブ PATTISON Steven C. (51) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Linguistics and English Language) 【待リ】
		英語準上級B 英語コミュニケーション・スキル 英語小説講読 特殊講義(言語教育科目)
兼任	准教授	ベルガー マコ ベルガー 舞子 (44) ＜令和5年4月＞ Master of Education (TESOL) 【待リ】
		英語初級B 英語中級B 英語検定試験対策講座Ⅱ
兼任	准教授	ホ スンフン エミリア HEO Seunghoon Emilia (47) ＜令和5年4月＞ Ph. D. in International Relations 【スイス】
		国際関係論入門
兼任	准教授	ポルト マッシリアーノ PORTO Massimiliano (39) ＜令和5年4月＞ 博士(経済学)
		多文化協働ワークショップ 経済学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	マック リンジー MACK Lindsay (43) ＜令和5年4月＞ Ed. D. (TESOL) 【イギリス】
		英語準上級A 英語上級2A ビジネス英語B スチューデントサクセスワークショップ
兼任	准教授	ヤン ジョンウ YANG Jeongwoo (45) ＜令和5年4月＞ 修士(経営学)
		経営学入門
兼任	准教授	レ ホン アン トゥー LE Hoang Anh Thu (41) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Anthropology) 【オーストラリア】
		スチューデントサクセスワークショップ 文化人類学
兼任	准教授	ロスマン スティーブン ROTHMAN Steven B. (45) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Politics) 【アメリカ】
		国際関係論入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	マック リンジー MACK Lindsay (43) ＜令和5年4月＞ Ed. D. (TESOL) 【イギリス】
		英語中級B 英語上級2A ビジネス英語B
兼任	准教授	マヒチ ファゼフ MAHICHI Faezeh (50) ＜令和5年4月＞ 博士(生命科学)
		世界経済とグローバル課題
兼任	准教授	ヤマウラ コウイチ 山浦 航一 (42) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Economics) 【アメリカ】
		経済学入門
兼任	准教授	ヤン ジョンウ YANG Jeongwoo (45) ＜令和5年4月＞ 修士(経営学)
		経営学入門
兼任	准教授	ルゥ ペトルス ウィレム ROUX Petrus Willem (52) ＜令和5年4月＞ 博士(学術)
		スチューデントサクセスワークショップ 異文化フィールドワーク II グローバルリーダーシップの基礎 キャリア形成のための自己分析
兼任	准教授	レ ホン アン トゥー LE Hoang Anh Thu (41) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Anthropology) 【オーストラリア】
		文化人類学
兼任	准教授	ロスマン スティーブン ROTHMAN Steven B. (45) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Politics) 【アメリカ】
		国際関係論入門 比較政治学入門
兼任	講師	アップル デリック APPLE Derrick (43) ＜令和5年4月＞ Doctor of Theology 【アメリカ】
		英語準中級A 英語中級A 英語中級B
兼任	講師	イミ 李 美姫 (35) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		韓国語 I 韓国語 II
兼任	講師	イカク アサヒ 石毛 愛佳 (34) ＜令和5年4月＞ Master of Arts (TESOL) 【カナダ】
		英語初級A 英語初級B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	イムラ フエ 石村 文恵 (48) ＜令和5年4月＞ Master (Applied Linguistics) 【オーストラリア】
		日本語初級Ⅱ 日本語初級Ⅲ 日本語中級
兼任	講師	イバシ タコ 板橋 民子 (53) ＜令和5年4月＞ Master (Applied Linguistics) 【オーストラリア】
		日本語中上級 日本語上級
兼任	講師	イノウエ ヨシコ 井上 佳子 (43) ＜令和5年4月＞ Master of Arts (Secondary Education) 【アメリカ】
		日本語初級Ⅲ 日本語上級 日本語コミュニケーションスキル
兼任	講師	エトウ トモコ 衛藤 智子 (44) ＜令和5年4月＞ Master of Arts (Applied Linguistics with TESOL) 【イギリス】
		英語初級A 英語初級B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	イムラ フエ 石村 文恵 (49) ＜令和5年4月＞ Master (Applied Linguistics) 【オーストラリア】
		日本語初級Ⅲ
兼任	講師	イタイ ヨシエ 板井 芳江 (58) ＜令和5年4月＞ 修士(言語教育情報学)
		日本語初級Ⅱ 日本語中級
兼任	講師	イバシ タコ 板橋 民子 (53) ＜令和5年4月＞ Master (Applied Linguistics) 【オーストラリア】
		日本語中級 日本語中上級 日本語上級
兼任	講師	イトウ トシヤ 伊藤 俊也 (61) ＜令和5年4月＞ 修士(言語教育)
		日本語中級
兼任	講師	イノウエ(カドツ) ヨシコ 井上(工藤) 佳子 (43) ＜令和5年4月＞ Master of Arts (Secondary Education) 【アメリカ】
		日本語初級Ⅰ 日本語上級 日本語コミュニケーションスキル
兼任	講師	インタン プスピタサリ INTAN Puspitasari (43) ＜令和5年4月＞ Masters Degree in Japanese Area Studies 【インドネシア】
		マレー・インドネシア語Ⅰ
兼任	講師	グァイラ ロペス エドゥアルド VILA LOPEZ Eduardo (44) ＜令和5年4月＞ Master's Degree in Teaching Spanish as a Foreign Language 【スペイン】
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	講師	ワラー ローランド WALLER Roland C. (53) ＜令和5年4月＞ Master's Degree in TESOL 【オーストラリア】
		英語中級A 英語中級B
兼任	講師	エトウ トモコ 衛藤 智子 (44) ＜令和5年4月＞ Master of Arts (Applied Linguistics with TESOL) 【イギリス】
		英語初級B 英語中級B
兼任	講師	エルクァ ヴィア ELVITA Wiasih (43) ＜令和5年4月＞ 修士(学術)
		マレー・インドネシア語Ⅰ
兼任	講師	オ ヨンミン OH Young Min (50) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	<p>キングズ マット SAUNDERS Matt (49) <令和5年4月> Master (Applied Linguistics) 【オーストラリア】</p> <p>英語準中級A 英語準上級B 英語ディスカッションとディベート</p>
兼任	講師	<p>ジョーンズ ケント JONES Kent (46) <令和5年4月> Master's Degree in Second Language Education 【カナダ】</p> <p>英語上級2B ビジネス英語A</p>
兼任	講師	<p>スティルプ ランス ジョセフ STILP Lance Joseph (38) <令和5年4月> Master of Arts (Applied English Linguistics) 【アメリカ】</p> <p>英語中級A 英語中級B 英語検定試験対策講座 I</p>
兼任	講師	<p>スリ プデイレスタリ SRI Budi Lestari (44) <令和5年4月> 博士(学術)</p> <p>マレー・インドネシア語 I マレー・インドネシア語 II マレー・インドネシア語 IIIA マレー・インドネシア語 IIIB 言語グローバルラーニング (マレー・インドネシア語)</p>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	<p>コヤマ イズミ 小山 いずみ (33) <令和5年4月> 修士(日本語教育学)</p> <p>日本語初級 II</p>
兼任	講師	<p>キングズ マット SAUNDERS Matt (50) <令和5年4月> Master (Applied Linguistics) 【オーストラリア】</p> <p>英語準中級B 英語準上級B 英語ディスカッションとディベート</p>
兼任	講師	<p>シバヤ マサ 渋谷 雅円 (41) <令和5年4月> 修士(文学) 【中国】</p> <p>日本語中級</p>
兼任	講師	<p>ジョーンズ ケント JONES Kent (46) <令和5年4月> Master's Degree in Second Language Education 【カナダ】</p> <p>英語準中級B 英語上級1B 英語上級2B ビジネス英語A</p>
兼任	講師	<p>ジョンストン パトリック ジョン JOHNSTON Patrick J (39) <令和5年4月> Master of Education 【カナダ】</p> <p>英語初級A 英語準中級A 英語準中級B 特殊講義(言語教育科目)</p>
兼任	講師	<p>スティルプ ランス ジョセフ STILP Lance Joseph (38) <令和5年4月> Master of Arts (Applied English Linguistics) 【アメリカ】</p> <p>英語準中級A 英語中級A 英語検定試験対策講座 I</p>
兼任	講師	<p>スリ プデイレスタリ SRI Budi Lestari (44) <令和5年4月> 博士(学術)</p> <p>マレー・インドネシア語 I マレー・インドネシア語 II マレー・インドネシア語 IIIA マレー・インドネシア語 IIIB 言語グローバルラーニング (マレー・インドネシア語) 集中言語研修</p>
兼任	講師	<p>タイル ウィリアム TILEY William (33) <令和5年4月> Master (Civil Engineering) 【イギリス】</p> <p>英語準上級A 英語上級2B</p>
兼任	講師	<p>タカダ ヒロキ 高田 亮 (45) <令和5年4月> Master of Arts (Japanese) 【アメリカ】</p> <p>日本語初級 I 日本語初級 II</p>
兼任	講師	<p>タカツ チエミ 高松 知恵美 (41) <令和5年4月> 修士(言語教育情報学)</p> <p>日本語中級</p>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	テラナント フォンラット TIRANANT Phornrat (37) <令和5年4月> Ph.D.-(Curriculum and Instruction) 【7/14】
		タイ語Ⅰ タイ語Ⅱ タイ語Ⅲ 言語グローバルラーニング(タイ語)A 言語グローバルラーニング(タイ語)B
兼任	講師	バラソ ロメロ ビクトル マヌエル BARRASO ROMERO Victor Manuel (43) <令和5年4月> 博士(言語文化学)
		スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ スペイン語ⅢA スペイン語ⅢB 言語グローバルラーニング(スペイン語)
兼任	講師	ピグノレイ ルーカス PIGNOLET Lucas (46) <令和5年4月> Master of Science (Biology) 【7/14】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	カサ リエ 多田 利恵 (41) <令和5年4月> Master's Degree in TFL 【7/14】
		日本語初級Ⅰ 日本語初級Ⅱ
兼任	講師	テラト マコ 寺本 真悠子 (38) <令和5年4月> 修士(文学)
		日本語初級Ⅰ 日本語中級
兼任	講師	トサ ヤミ 戸坂 弥寿美 (49) <令和5年4月> 修士(日本語・日本語教育)
		日本語中級
兼任	講師	トハラ レイ 柄原 玲子 (44) <令和5年4月> 修士(教育学)
		日本語初級Ⅱ 日本語中級
兼任	講師	バーナド マリア アナ BERNARD Malia Ana (30) <令和5年4月> Ed. M. in English Education 【7/14】
		英語初級A 英語初級B 英語準上級B
兼任	講師	パッドフィールド サラ PADFIELD Sarah (36) <令和5年4月> Masters Degree in Education 【7/14】
		英語準中級B 英語準上級A 特殊講義(言語教育科目)
兼任	講師	バラソ ロメロ ビクトル マヌエル BARRASO ROMERO Victor Manuel (43) <令和5年4月> 博士(言語文化学)
		スペイン語Ⅱ スペイン語ⅢB 言語グローバルラーニング(スペイン語) 集中言語研修
兼任	講師	バンキアン アーラク PHANKHIAN Areeluck (50) <令和5年4月> M. A. (Educational Administration) 【7/14】
		タイ語Ⅰ
兼任	講師	ピグノレイ ルーカス PIGNOLET Lucas (46) <令和5年4月> Master of Science (Biology) 【7/14】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ミクラー ダービー MCGRATH Darby (51) ＜令和5年4月＞ Master (Applied Linguistics) (TESOL) 【オーストラリア】 英語準中級B 英語上級1A 英語上級1B メディアのなかの英語
兼任	講師	メドレー ニコラス MEDLEY Nicholas (43) ＜令和5年4月＞ Master of Arts (English) (TESOL) 【アメリカ】 英語中級A 英語準上級A ジャーナリズムのための英語
兼任	講師	ヨシダ マサヒロ 吉田 真宏 (56) ＜令和5年4月＞ Master (Linguistics) 【オーストラリア】 日本語初級Ⅰ 日本語初級Ⅱ 日本語中級
兼任	講師	ラーキング マルコム LARKING Malcolm (42) ＜令和5年4月＞ Master of Arts (TESOL) 【カナダ】 英語初級A 英語検定試験対策講座Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	マクマホン アンドリュー スティーブン MCMAHON Andrew Stephen (46) ＜令和5年4月＞ Master's Degree in TESOL 【イギリス】 英語準上級A 英語準上級B 英語上級2A
兼任	講師	マハバ ショウイチ 眞邊 昌一 (53) ＜令和5年4月＞ 修士 (音楽) 英語初級A 英語準中級B 特殊講義 (言語教育科目)
兼任	講師	ミクラー ダービー MCGRATH Darby (51) ＜令和5年4月＞ Master (Applied Linguistics) (TESOL) 【オーストラリア】 英語準中級B 英語準上級B メディアのなかの英語
兼任	講師	ヤマシタ 深山 道助 (60) ＜令和5年4月＞ 修士 (言語教育情報学) 日本語中級
兼任	講師	メドレー ニコラス MEDLEY Nicholas (44) ＜令和5年4月＞ Master of Arts (English) (TESOL) 【アメリカ】 英語準上級A ジャーナリズムのための英語
兼任	講師	ヤマタ ナツエ 矢津田 花絵 (39) ＜令和5年4月＞ Master of Science in Education 【イギリス】 日本語初級Ⅰ
兼任	講師	ヨシダ マサヒロ 吉田 真宏 (56) ＜令和5年4月＞ Master (Linguistics) 【オーストラリア】 日本語初級Ⅱ
兼任	講師	ヨシムラ (モリカ) エリ 吉村(森田) 依里 (41) ＜令和5年4月＞ 修士 (教授システム学) 日本語初級Ⅰ 日本語中級
兼任	講師	ラウ 羅 華 (46) ＜令和5年4月＞ 修士 (国際コミュニケーション) 中国語Ⅰ 中国語ⅢA 言語グローバルラーニング (中国語) A 言語グローバルラーニング (中国語) B
兼任	講師	ラーキング マルコム LARKING Malcolm (42) ＜令和5年4月＞ Master of Arts (TESOL) 【カナダ】 英語初級A 英語検定試験対策講座Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	アヲ アツ 青野 篤 (50) ＜令和5年4月＞ 修士(法学)
		日本国憲法 法学
兼任	講師	ウイバー デイヴイット WEAVER David (66) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Geography) 【カナダ】
		環境教育

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	リュ ボスル 柳 ボスル (32) ＜令和5年4月＞ 博士(経済学)
		マーケティング入門
兼任	講師	アームストロング ルーク ARMSTRONG Luke (34) ＜令和5年4月＞ Bachelor of Arts Degree in Historical Archaeology 【イギリス】
		英語準上級A 英語準上級B
兼任	講師	アヲ アツ 青野 篤 (50) ＜令和5年4月＞ 修士(法学)
		日本国憲法 法学
兼任	講師	アヘ マスオ 阿部 万寿夫 (61) ＜令和5年4月＞ 修士(経済学)
		専門実習
兼任	講師	アリマ ナキ 有村 直輝 (32) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		西洋哲学
兼任	講師	アサキ ヲシ 栗屋 剛 (73) ＜令和5年10月＞ 博士(医学)
		生命倫理
兼任	講師	イ ソン 李 ソヨン (41) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		韓国語 I 韓国語 III 言語グローバルラーニング(韓国語) A
兼任	講師	イップ ジョーダン YIP Jordan (38) ＜令和5年4月＞ Bachelor Degree in Photography 【イギリス】
		英語中級B 英語準上級A
兼任	講師	ウイバー デイヴイット WEAVER David (66) ＜令和5年4月＞ Ph. D. (Geography) 【カナダ】
		環境教育
兼任	講師	ウダ ヒナ 上田 優花 (27) ＜令和5年4月＞ 学士(国際政策学)
		日本語初級II
兼任	講師	ウスリー ケーリン ローズ USREY Kaylin Rose (35) ＜令和5年4月＞ Master's Degree in Applied Linguistics 【イギリス】
		英語中級A 英語中級B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	林 隆一 大津留 榮佐久 (66) ＜令和5年4月＞ 学士(工学)
		論理とクリティカルシンキング
兼任	講師	荻野 哉 (53) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		西洋美術
兼任	講師	小田切 健太郎 (38) ＜令和5年4月＞ 博士(文学)
		西洋哲学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	内田 力 (39) ＜令和5年10月＞ 博士(学術)
		アジア太平洋の歴史
兼任	講師	梅澤 華子 (50) ＜令和5年4月＞ Ph.D. in International Relations 【待リス】
		特殊講義(日本学)
兼任	講師	EL-SAYED Haytham (45) ＜令和5年4月＞ Ph.D. in Philosophy 【待リス】
		論理とクリティカルシンキング
兼任	講師	王 楓 (36) ＜令和5年4月＞ 修士(言語文化学)
		中国語 I 中国語 IIIA 中国語 IIIB
兼任	講師	大内 紹子 (34) ＜令和5年4月＞ 学士(国際文化学)
		日本語初級 II
兼任	講師	大谷 いづみ (63) ＜令和5年10月＞ 博士(学術)
		特殊講義(共通教養科目)
兼任	講師	大橋 克洋 (73) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		アジア太平洋の言語
兼任	講師	OGAS MENDEZ Federico (40) ＜令和5年4月＞ 博士(理学)
		アジア太平洋の地理
兼任	講師	岡本 雪乃 (31) ＜令和5年10月＞ 博士(政策科学)
		政策学入門
兼任	講師	荻野 哉 (53) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		西洋美術

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ソクタイ ボンパン 宗泰 ボンパン (69) ＜令和5年4月＞ Bachelor of Economics 【タイ】
		茶道
兼任	講師	タカノ セイジ 高野 誠司 (60) ＜令和5年4月＞ 修士(社会学)
		アジア太平洋の宗教

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		特殊講義(共通教養科目)
兼任	講師	ジヤイ ルーミー ルービー JAI Rheumi Rhubi (32) ＜令和5年4月＞ Masters in Development Statistics 【ジヤイ】
		英語準中級A 英語準中級B
兼任	講師	シャトルワース キyle SHUTTLEWORTH Kyle (37) ＜令和5年4月＞ Ph. D. in Philosophy 【イギリス】
		西洋哲学 中国哲学
兼任	講師	シュ ジアジュン XU Jiajun (32) ＜令和5年10月＞ 会計監査修士(専門職)
		会計入門
兼任	講師	シュエアー オーエン リチャード SCHWESER Owen Richard (36) ＜令和5年4月＞ Bachelor's Degree in Animation 【イギリス】
		英語初級B 英語中級B 英語準上級B
兼任	講師	ソクタイ ボンパン 宗泰 ボンパン (69) ＜令和5年4月＞ Bachelor of Economics 【タイ】
		茶道
兼任	講師	ツツ シヤ 孫 爽 (29) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		中国語 I 中国語 II
兼任	講師	タカノ セイジ 高野 誠司 (60) ＜令和5年4月＞ 修士(社会学)
		アジア太平洋の宗教 アジア太平洋の文化と社会
兼任	講師	タカノ(エリカ) リョウコ 高野(衛藤) 涼子 (45) ＜令和5年4月＞ 学士(教育学)
		日本語中級
兼任	講師	タテノ シンヤ 立岩 真也 (62) ＜令和5年10月＞ 修士(社会学)
		特殊講義(共通教養科目)
兼任	講師	タカイ ヨシオ 玉井 良尚 (45) ＜令和5年10月＞ 博士(政策科学)
		政策学入門
兼任	講師	チョ ヒジン CHO Heejin (39) ＜令和5年4月＞ 修士(言語学)
		韓国語 I 韓国語 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	フジワラ ミチキ 藤原 満喜 (66) <令和5年4月> 高等学校卒
		華道
兼任	講師	ムラタ ススム 村田 進 (49) <令和5年4月> 博士(文学)
		中国哲学
兼任	講師	ヤマガチ サトミ 山口 里美 (52) <令和5年4月> 修士(理学)
		近現代の科学技術
兼任	講師	ヤマモト シンヤ 山本 紳也 (62) <令和5年4月> Master of Business Administration 【アメリカ】
		ネゴシエーションスキル
兼任	講師	ヨシカミ タイスケ 吉岡 泰亮 (38) <令和5年4月> 博士(政策科学)
		政策学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	ヒラタ シュンイチ 平田 純一 (72) <令和5年4月> Ph. D. in Economics 【アメリカ】
		経済学入門
兼任	講師	フジムラ マサノブ 藤村 賢訓 (51) <令和5年4月> 修士(法学)
		法学
兼任	講師	フジワラ ミチキ 藤原 満喜 (67) <令和5年4月> 高等学校卒
		華道
兼任	講師	ブラウン ダニエル アレクサンダー BROWN Daniel A. (33) <令和5年4月> Bachelor Degree in Philosophy 【イギリス】
		英語初級B 英語準中級A
兼任	講師	ヘルナンデス ハワード HERNANDEZ Howard H. (39) <令和5年4月> Masters Degree in Adult Education 【アメリカ】
		英語中級A 英語中級B
兼任	講師	マスロー セバスティアン MASLOW Sebastian (40) <令和5年4月> 修士(情報科学)
		日本の政治と社会
兼任	講師	ムラタ ススム 村田 進 (49) <令和5年4月> 博士(文学)
		中国哲学
兼任	講師	ヤマガチ サトミ 山口 里美 (52) <令和5年4月> 修士(理学)
		近現代の科学技術
兼任	講師	ヤマト ケンジ 山門 健二 (64) <令和5年4月> 修士(国際学)
		日本語初級Ⅱ
兼任	講師	ヤマモト シンヤ 山本 紳也 (62) <令和5年4月> Master of Business Administration 【アメリカ】
		ネゴシエーションスキル
兼任	講師	ヨシカミ タイスケ 吉岡 泰亮 (38) <令和5年4月> 博士(政策科学)
		政策学入門
兼任	講師	ランカ ロドリゴ LANKA Rodrigo (54) <令和5年4月> 博士(工学)
		情報処理入門 プログラミング入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	ラングレイ レイモンド LANGLEY Raymond (65) <令和5年4月> Doctor of Philosophy 【アメリカ】 基礎数学
			兼任	講師	リナ 李 娜 (33) <令和5年4月> 修士(文学) 【中国】 中国語 I 中国語 II
			兼任	講師	リドワン ヘルヤディ RIDWAN Heryadi (42) <令和5年4月> 学士(アジア太平洋学) マレー・インドネシア語 I マレー・インドネシア語 II
			兼任	講師	リュウ 佳勳 (41) <令和5年4月> 博士(理学) 基礎数学
			兼任	講師	レクエロ デイアズ ハイメ RECUERO DIAZ Jaime (28) <令和5年4月> Master of Education in Teaching Spanish as a Foreign Language 【スペイン】 スペイン語 I スペイン語 IIIA
			兼任	講師	レンドン カストロ ダニエル RENDON CASTRO Daniel (36) <令和5年4月> Bachelor Degree, Hispanic Language and Literature 【キューバ】 スペイン語 I スペイン語 II

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・李 燕(専)：担当科目の見直しにより1科目削除・6科目追加
- ・石川 剛生(専)：担当科目の見直しにより1科目削除
- ・VAFADARI M. Kazem(専)：担当科目の見直しにより1科目削除
- ・轟 博志(専)：担当科目の見直しにより1科目削除・1科目追加
- ・NISHANTHA G. G. D. (専)：担当科目の見直しにより2科目追加
- ・韓 驥(専)：担当科目の見直しにより1科目削除
- ・BUI Thanh Huong(専)：担当科目の見直しにより2科目追加
- ・上原 優子(専)：担当科目の見直しにより2科目削除
- ・狩野 英司(専)：担当科目の見直しにより1科目削除・4科目追加
- ・SUN Yiyang(専)：担当科目の見直しにより1科目追加および職位変更
- ・松尾 雄司(専)：担当科目の見直しにより3科目追加
- ・YOUN Seung Ho(専)：担当科目の見直しにより1科目追加
- ・DIMACHE Alexandru(専)：担当科目の見直しにより1科目削除・1科目追加
- ・BOUKAMBA Kimo Hermann(専)：担当科目の見直しにより1科目削除・3科目追加
- ・大塚 宏蔵(兼任)：担当科目の見直しにより1科目削除・1科目追加および職位変更
- ・カッティング 美紀(兼任)：担当科目の見直しにより1科目削除および職位変更
- ・吉川 卓郎(兼任)：担当科目の見直しにより1科目削除
- ・ゴトビ ナデル(兼任)：担当科目の見直しにより2科目削除
- ・佐藤 洋一郎(兼任)：担当科目の見直しにより1科目削除・1科目追加
- ・清家 久美(兼任)：担当科目の見直しにより1科目追加
- ・田原 洋樹(兼任)：担当科目の見直しにより5科目削除
- ・平井 達也(兼任)：担当科目の見直しにより1科目削除・2科目追加
- ・BLACKWELL James(兼任)：担当科目の見直しにより1科目削除・1科目追加
- ・MANTELLO Peter A. (兼任)：担当科目の見直しにより1科目追加
- ・吉田 香織(兼任)：担当科目の見直しにより1科目削除
- ・VYAS Utpal(兼任)：担当科目の見直しにより1科目削除・1科目追加
- ・GOMEZ Oscar A. (兼任)：担当科目の見直しにより1科目削除・1科目追加
- ・佐藤 浩人(兼任)：担当科目の見直しにより1科目削除
- ・立山 博邦(兼任)：担当科目の見直しにより2科目削除
- ・張 文青(兼任)：担当科目の見直しにより4科目削除
- ・JUNG Jong Hee(兼任)：担当科目の見直しにより5科目削除・1科目追加
- ・筒井(藤原) 久美子(兼任)：担当科目の見直しにより2科目削除・1科目追加
- ・中神 正史(兼任)：担当科目の見直しにより1科目削除
- ・布尾 勝一郎(兼任)：担当科目の見直しにより2科目削除
- ・蓮田 隆志(兼任)：担当科目の見直しにより3科目削除
- ・PATTISON Steven C. (兼任)：担当科目の見直しにより1科目削除・2科目追加
- ・ベルガー 舞子(兼任)：担当科目の見直しにより1科目削除・1科目追加
- ・MACK Lindsay(兼任)：担当科目の見直しにより2科目削除・1科目追加
- ・LE Hoang Anh Thu(兼任)：担当科目の見直しにより1科目削除
- ・ROTHMAN Steven B. (兼任)：担当科目の見直しにより1科目追加
- ・石村 文恵(兼任)：担当科目の見直しにより2科目削除
- ・板橋 民子(兼任)：担当科目の見直しにより1科目追加
- ・井上(工藤) 佳子(兼任)：担当科目の見直しにより1科目削除・1科目追加
- ・衛藤 智子(兼任)：担当科目の見直しにより2科目削除・2科目追加
- ・SAUNDERS Matt(兼任)：担当科目の見直しにより1科目削除・1科目追加
- ・JONES Kent(兼任)：担当科目の見直しにより2科目追加
- ・STILP Lance Joseph(兼任)：担当科目の見直しにより2科目削除・2科目追加
- ・SRI Budi Lestari(兼任)：担当科目の見直しにより1科目追加
- ・TIRANANT Phornrat(兼任)：担当科目の見直しにより5科目削除
- ・BARRASO ROMERO Victor Manuel(兼任)：担当科目の見直しにより2科目削除・1科目追加
- ・PIGNOLET Lucas(兼任)：担当科目の見直しにより1科目削除
- ・廣津 公子(兼任)：担当科目の見直しにより3科目削除
- ・MCGRATH Darby(兼任)：担当科目の見直しにより2科目削除・1科目追加
- ・MEDLEY Nicholas(兼任)：担当科目の見直しにより2科目削除・1科目追加
- ・吉田 真宏(兼任)：担当科目の見直しにより2科目削除
- ・大津留 榮佐久(兼任)：担当科目の見直しにより1科目削除
- ・小田切 建太郎(兼任)：担当科目の見直しにより1科目削除
- ・高野 誠司(兼任)：担当科目の見直しにより1科目追加

・以下の者が専任として就任

吉澤 清良、胡 飛瑜、笛吹(ウルフ) 理絵、K C Dipendra、山根 友美

・以下の者が兼任として就任

CLASTER William B.、SALAZAR Robert A. C.、秦 喜美恵、SEVIGNY Paul、夏田 郁、HOOI Carol Lai-Wan、藤田 正典、PROGLER Joseph、吉松 秀孝、USREY Bryan Gordon、金井 秀介、KIM Young Sun、住田 環、塚本 崇、HEO Seunghoon Emilia、PORTO Massimiliano、MAHICHI Faezeh、山浦 統一、ROUX Petrus Willem、APPLE Derrick、李 美姬、石毛 愛佳、板井 芳江、伊藤 俊也、INTAN Puspitasari、VILA LOPEZ Eduardo、WALLER Roland C.、ELVITA Wiasih、OH Young Min、大平 幸、小野 田 千絵、KERR Joshua、河原畑 希久、NGUYEN Ha Thi Thanh、NGUYEN Hoang Minh、隈井 正三、GROWLEY Kevin、CONNER Matthew David、小山 いずみ、渋谷 雅円、JOHNSTON Patrick J.、TILEY William、高田 亮、高松 知恵美、多田 利恵、寺本 真悠子、戸坂 弥寿美、梶原 玲子、BERNARD Malia Ana、PADFIELD Sarah、PHANKHIAN AreeLuck、PHILLIPS Michael、福川(小久保) 美沙、藤崎 拓海、PRIEST William、HERRERA Grilie Ann、BENSON 華子、HENDRICKS Jonathan、星野 智子、HUNG Yu-Ting、MCGAHOON Andrew Stephen、眞邊 昌一、深山 道助、矢津田 花絵、吉村(森田) 依里、羅 華、LIMTHANANUNTHA P.、RENTLER Benjamin、COUSINS Elicia、KIM Jiye、GAYDOS Matthew Joseph、鶴原 利泰、華内(古田) 美砂、宮部 峻、柳 ポスル

・以下の者が兼任として就任

ARMSTRONG Luke、阿部 万寿夫、有村 直輝、栗屋 剛、李 ソヨン、YIP Jordan、上田 優花、USREY Kaylin Rose、内田 力、梅澤 華子、EL-SAYED Haytham、王 楓、大内 紹子、大谷 いづみ、大橋 克洋、OGAS MENDEZ Federico、岡本 雪乃、金山 寛、神足 博美、上子 秋生、唐川 靖弘、川端 美季、KIANINEJAD Azra、GARRITY Darcy、NGUYEN Chung Huu、GRANT Collette S.、KENNIS ANKE、CORNELIS Elena A.、後藤 美智子、小宮山 功一朗、斉藤 沙綾香、齊藤 友子、佐古 仁志、佐々木 美江、サン ダー 美里、SAMBUU Tsetsegee、GIACOMELLI Joely、嶋田 泰也、JAI Rheumi Rhubi、SHUTTLEWORTH Kyle、XU Jiajun、SCHWEHR Owen Richard、孫 爽、高野(衛藤) 涼子、立岩 真也、玉井 良尚、CHO Heejin、CHOTANI Vinu Mai、陳 世宗、寺野 摩弓、THORSTEN Marie、仲井間 健太、長瀬 修、橋本 謙司、PIKE Luke Richard、HAO Xiaoyang、PARK Seohee、土師 美佐子、日高 利泰、平田 純一、藤村 賢訓、BROWN Daniel A.、HERNANDEZ Howard H.、MASLOW Sebastian、山門 健二、LANKA Rodrigo、LANGLEY Raymond、李 娜、RIDWAN Heryadi、琉 佳勳、RECUERO DIAZ Jaime、RENDON CASTRO Daniel

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)」の設置の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
19 名	10 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
14	6	0	3	23	0	16	8	0	5	29	0
(15)	(6)	(0)	(3)	(24)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
16	8	0	5	29	0	16	8	0	5	29	0
[2]	[2]	[0]	[2]	[6]	[0]	[2]	[2]	[0]	[2]	[6]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、限可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ 1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{29}{23} = \boxed{126.08} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{29} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)	
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{23} = 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和4年)	該当なし	—	—

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<サステナビリティ観光学部 サステナビリティ観光学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

1. 本学では、学部・研究科に共通する教学に関わる事項について審議を行うための全学的機関として、教学委員会を設置している（立命館アジア太平洋大学教学委員会規程）。教学委員会は、教学部長が主宰し、各学部の副学部長や各センターの副センター長が出席し、毎年度の全学的な教学上の開講計画および総括を策定・承認している。ここでは、FD活動についても毎年度の方針に基づく総括、次年度計画を審議している。また教育の質的向上のために、各学部・研究科におけるFD活動や、全学的なFDの取組を共有している。
2. 全学的にはグローバル教職員開発インスティテュート（以下「IPG」という。）を設置して、大学全体のFD・SD活動の立案を行い、さらに「大学全体の教育の充実・高度化および学修支援に資する事業を行う」ための常設組織として教育開発・学修支援センター（以下「センター」という。）を置いて、学部・研究科のFD活動を支援している（立命館アジア太平洋大学教育開発・学修支援センター規程第1条）。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

1. 教学委員会は毎週月曜日に実施し、全学部の副学部長や各センターの副センター長、教学部の部次長と副部長が出席している（立命館アジア太平洋大学教学委員会規程第3条）。
2. IPG運営委員会は議案に応じて開催されており、構成員は学長、総務・財務担当副学長、教育開発・学修支援センター長、同副センター長、各学部の教員のうち、学部長が指名する者、各センターの教員のうち、センター長が指名する者である。
3. センターは日常的運営を行うため、教育開発・学修支援センター会議（以下「センター会議」という。）を置いている。構成員は、教育開発・学修支援センター長、同副センター長、センターに所属する教員である。

c 委員会の審議事項等

1. 教学委員会（立命館アジア太平洋大学教学委員会規程第2条）
 - (1) 教育課程の編成および実施に関する事項
 - (2) 教育の内部質保証に関する事項 等
2. IPG運営委員会
 - (1) 年度活動計画に関する事項
 - (2) 年度活動総括に関する事項 等
3. センター会議
 - (1) センターの活動方針および総括に関する事項
 - (2) センターが行う事業の基本方針に関する事項 等

② 実施状況

a 実施内容

1. 当年度重点課題の検討
2. FDセミナーの開催
3. 新任教員対象の「ミネソタFD研修プログラム」の実施
4. 授業実践インタビュー記事「Q」の作成、FDセミナーのデータ共有を通じた教育に関する実践報告や授業研究の共有
5. FD/SDセミナー情報の学内発信

b 実施方法

1. 当年度重点課題の検討
 - ・学部、センターの枠をこえた検討ワーキングによる課題検討と、検討結果の教学委員会等への提案・提言
2. FDセミナーの開催
 - ・国内外の国際教育動向、大学のビジョンや教育上の実践課題の共有、大学運営や社会動向、制度改正動向
3. 新任教員対象の「ミネソタFD研修プログラム」の実施
 - ・新任教員を対象として、ミネソタ大学講師による当該教員の授業見学、履修生へのヒアリング、当該教員へのコンサルテーション、ミネソタ大学でのFDワークショップの受講、発表会等を1年間実施
4. 授業実践インタビュー記事「Q」の作成、FDセミナーのデータ共有を通じた教育に関する実践報告や授業研究の共有
 - ・授業の質向上に向けた実践インタビュー記事の作成と掲載、学内専用WebサイトでのFDセミナー録画データ・資料のアーカイブ化
5. FD/SDセミナー情報の学内発信
 - ・学内または国内・国外の他大学・機関によるFD/SDセミナーの情報の、メールやWebサイトを通じた教職員への案内

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<令和4年度>

1. 当年度重点課題の検討：「シラバス検討ワーキング」
 - ・各学部、センターの代表教員6名が参加、全5回開催
 - ・全学生を対象としたニーズ調査と結果分析、国内外のシラバス調査と分析、学習会の開催
 - ・検討まとめの作成およびシラバス執筆マニュアル更新の提案
2. FDセミナーの開催
 - ・計6回のセミナーを実施し142名の教職員等が参加
3. 新任教員対象の「ミネソタFD研修プログラム」の実施
 - ・8名が受講。受講者は研修報告会においてプログラムで得た知見を学内に共有
4. 授業実践インタビュー記事「Q」の作成、FDセミナーのデータ共有を通じた教育に関する実践報告や授業研究の共有
 - ・7件の記事を作成。内容は教員4名、履修学生3名のインタビュー、演習・課外活動における工夫点
 - ・4件のFDセミナーデータを共有
5. FD/SDセミナー情報の学内発信
 - ・メール「IPG通信」および学内Webサイトにより随時発信

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. 重点課題の検討により先進的な教育実践と学部・研究科固有のFD活動との連携を促進
2. FDセミナーを通じて共有した、教育を取り巻く動向や課題、優れた教育実践を授業改善や学生支援に活用
3. 教員に期待する教育力量の向上および教育活動の促進
4. 学内の実践事例の共有と普及、教育に関する理論や実践の研究と成果の発信
5. 国内外の実践事例の共有と普及

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・毎年度、各クォーターおよびセメスター終盤に授業時間内で実施
- ・回答率は次のとおり<令和4年度>
学部科目：春40.5%、秋35.0% 大学院科目：春68.5%、秋58.9%
- ・授業満足度は次のとおり<令和4年度>
学部講義科目：74.8%、3回生演習科目100.0%、言語教育科目90.5%、大学院科目84.8%

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・セメスター毎に各授業および分野等で分析し、①各教員には個別分析結果を返却しており、②学生には結果全体（科目区分毎）を学内Webサイトに掲載して閲覧できるようにしている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学部の人材育成目的である「社会学を基盤としたカリキュラムおよびキャンパス内外における様々な活動主体と協働した学びを通じ、社会と地域について学問横断的に理解し、持続可能な社会の形成と観光に関する基礎的・専門的知識を修得し、論理的・批判的な思考、定性的・定量的な分析、問題解決および異文化環境におけるコミュニケーションや協働の力を身に付けることで、様々な社会課題に対処でき、世界市民としての責任感に基づいて行動できる人材を育成する」ことを達成することを目的として、以下の取組みを行った。

1. 入学者確保

本学部設置届出の受理を受けて、学部紹介パンフレット作成、ホームページ作成、附属校生徒対象説明会・提携校生徒対象説明会の実施、オープンキャンパスでの学部紹介や模擬授業の実施、学部設置に関する記者発表やプレスリリース、新聞・雑誌からの取材受け入れ、交通広告、新聞紙面への広告などを積極的に展開し、本学部の教学内容や入学者受け入れ方針の浸透を図った。結果として、入学定員350名に対して、春季入試において計730名の志願者を集めることができた。入学者数は261名となり、入学手続率は予想を上回ったが、これは本学部に対する受験者の志望度の高さを反映したものと考えられる。今後は、志願者数の維持・向上と高い志望度の維持を図るとともに、学部の教学内容と入学者受け入れ方針とに、より一層合致する入学者を確保すべく、適切な広報活動を実施するよう努める。

2. 新入生オリエンテーション

授業開始前に新入生オリエンテーションを実施し、学生生活のあるべき様に関する包括的なガイダンスを実施した。ガイダンスでは、学部開設の意義を含めた学部教育の基本的理念、人材育成目的、カリキュラム、学部の特徴である理論と実践の往還による学び、要卒単位構造など、学部教育の特色と履修に関わる基礎的な事柄を網羅的に説明した。ガイダンスでは以上の正課に関わる指導に加えて、学生生活全般に関する注意事項等の指導の中で、課外における自主的・積極的な学習展開の必要と、これに対する学部の具体的支援策を説明し、個別に相談を必要とする学生のために履修相談会を実施した。また、前期内に1人1人の学生へ人材育成目的に沿った学修指導を行うアカデミックアドバイジングを計画している。

3. 初年次教育

本学部では、人材育成目的に照らした体系的な学びを進めるために、初年次教育を重視している。1年次を高校から大学の学びの転換期、学部の学びの基本を固める入門期と位置づけてカリキュラムを編成し、4年次までの段階的かつ計画的な教育の基礎を確立して行く。

1年次には、必修科目として、基礎的な専門知識や学問的リテラシーを獲得することを目的に「持続可能な開発入門」「観光学入門」「社会学入門」「社会科学のための統計学」を配置し、大学における専門学習への意欲喚起と効果的な知識習得を促している。

その他、全ての1回生が履修する科目として、大学で学ぶ上で必要となる知識・スキル・姿勢などを学ぶ「スチューデントサクセスワークショップ」と本学の多文化環境を活用し、世界中から集まった学生が協働学修を行う「多文化協働ワークショップ」を設置している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・「2021年度 自己点検・評価報告書」を令和5年4月に公表済み

b 公表方法

- ・大学ホームページ上で公表済み <https://www.apu.ac.jp/home/about/content190/>

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和4（2022）年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（機関別認証評価）を受審し、適合結果を得た。評価結果は大学ホームページ上で公表済み。
- ・次回は、令和11（2029）年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（機関別認証評価）を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。